





# islonline

ワンタイム接続専用  
ISL Light Desk & ISL Light Client  
マニュアル

## 目次

1	ISL Light Desk、ISL Light Client とは.....	4
2	セットアップ.....	6
3	接続方法.....	7
4	操作画面.....	10
4.1	ツールバー.....	11
4.2	チャットウィンドウ.....	20
4.3	ステータスバー.....	21
5	終了方法.....	22
6	具体的な操作.....	23
6.1	ファイル（フォルダー）を転送する.....	23
6.2	ペンツールを使用する.....	25
6.3	録画する <b>WIN</b> .....	27
6.4	ビデオチャット・音声通話.....	32
6.5	遠隔で印刷を行う <b>WIN</b> .....	34
6.6	セッションを終了、一時停止、転送、招待する.....	36
6.7	セッションの履歴を管理する.....	41
7	設定.....	47
7.1	一般.....	49
7.2	デスクトップ共有.....	49
7.3	遠隔プリント <b>WIN</b> .....	50
7.4	ファイル転送.....	50
7.5	ビデオ設定.....	50
7.6	音声設定.....	51
7.7	レコーディング.....	51

## 本マニュアルについて

- ・ 本マニュアルで使用している画像は、Windows 版のものです。Mac 版・Linux 版をご利用の場合は一部画像が異なる場合がございますのでご了承ください。
- ・ Mac 版・Linux 版をご利用の場合は、ISL Light の機能の一部制限がございます。詳しくは各ページの ➡ をご参照ください。
- ・ 一部の機能は Windows の OS または Mac の OS でのみ対応しています。以下のアイコンがある機能は、いずれかの OS でのみ利用可能です。
  -  : Windows の OS でのみ利用可能
  -  : Mac の OS でのみ利用可能
- ・ ISL Online は現在「(パブリック) クラウド」「プライベートクラウド」「オンプレミス」の 3 種類のライセンスがございます。プライベートクラウドライセンスについてはオンプレミスライセンスの設定をご参照ください。

## 1 ISL Light Desk、ISL Light Client とは

ISL Light Desk、ISL Light Client は離れた場所にある端末の画面を共有・操作して、ヘルプデスクやコールセンターなどのテクニカルサポート業務を大幅に効率化するリモートサポートツールです。電話だけでは説明が伝わらず、多くの時間と労力を費やしていた場面でも接続先端末の画面を自分の端末上に表示・操作して、クライアントが抱えている問題点を迅速に解決することができます。

ISL Light Desk、ISL Light Client はインターネット上に設置されたサーバーを利用する「(パブリック) クラウドライセンス」、「プライベートクラウドライセンス」、自社サーバーを使用する「オンプレミスライセンス」の3種類のライセンスでご利用いただけます。

### 動作環境

※最新の動作環境および詳細は、以下のページをご参照ください。

<https://www.islonline.jp/features/requirements.html>

### 対応 OS

#### Windows

Windows 10 (32bit および 64bit) / 11

Windows Server 2016 / 2019 / 2022

#### Mac :

macOS Catalina / Big Sur / Monterey / Ventura / Sonoma / Sequoia ※1 ※3

#### Linux :

Ubuntu 20.04 LTS - 22.04 LTS (64bit) ※1 ※2

※1 -ISL Light Desk はサポートしておりません。

※2 -いずれも X Window System のインストールが必要です。

-ISL Light Client (バージョン 4.4.2116.19 以降) のみサポートしております。

※3 -macOS でご利用いただく場合、事前設定が必要です。以下の FAQ をご参照ください。

[https://islsupport.oceanbridge.jp/portal/ja/kb/articles/setting-on-macos#ISL\\_Light\\_Client](https://islsupport.oceanbridge.jp/portal/ja/kb/articles/setting-on-macos#ISL_Light_Client)

### 通信環境

- ・ 通信速度: 256Kbps (DSL) 以上
- ・ 通信ポート: 外向きの TCP ポート 7615、443、80 のいずれか
- ・ その他:

パブリッククラウドライセンス: ドメイン「\*.islonline.net」に対する接続許可

プライベートクラウド、オンプレミスライセンス: 対象サーバーに対する接続許可

## 【注意】

ISL Online のリモートサポート製品は以下の 3 種類のプログラムがございます。

本マニュアルはワнтаイム接続専用のプログラム「ISL Light Desk」および「ISL Light Client」の操作方法をご案内しております。

- ・ ISL Light Desk : オペレーター用のプログラム（ワнтаイム専用）
- ・ ISL Light Client : クライアント用のプログラム（ワнтаイム専用）
- ・ ISL Light : ワнтаイム接続（オペレーター用、クライアント用）と、常駐接続（オペレーター用）が利用できるプログラム



## ➡（参考）

オペレーターが ISL Light Desk から接続を行った場合と、ISL Light から接続を行った場合で、画面共有後のツールバーが異なります。

- ➡ ISL Light Desk は Windows のみ対応しております。Mac、Linux では ISL Light をご利用ください。

## 2 セットアップ

### ISL Online アカウントの作成

製品をご利用いただくには、操作する側のユーザー（以降：オペレーター）が、ISL Online アカウントを取得している必要があります。接続される側のユーザー（以降：クライアント）はアカウントを取得する必要はありません。アカウントは以下の手順で作成できます。

#### ■パブリッククラウドライセンスの場合

<https://www.islonline.jp/index.html> にアクセスして[体験版お申込み] を選択します。

#### ■オンプレミスライセンスの場合

管理者に連絡して、ユーザーアカウントを発行してもらいます。

（オペレーターのアカウントは ISL Conference Proxy の管理画面の[User management]で作成します。詳しい手順は『ISL Conference Proxy 新規セットアップマニュアル』をご参照ください）

### 起動プログラムのダウンロード

#### ■パブリッククラウドライセンスの場合

<https://www.islonline.jp/index.html> にアクセスして、画面右上の「ワンタイム接続モジュール」の各ボタンを選択してダウンロードを行います。

#### ➡（参考）Mac、Linux 版のプログラムについて

Mac、Linux 端末上で[オペレーター用]を選択すると ISL Light がダウンロードされます。  
[クライアント用]を選択すると ISL Light Client の最新版がご利用いただけます。



#### ■オンプレミスライセンスの場合

下記リンクから、各種モジュールのダウンロードを行います。

- ・ ISL Light Desk (オペレーター用モジュール)  
`http://サーバーの IP アドレスまたはホスト名:ポート番号/start/ISLLightDesk`
- ・ ISL Light Client (クライアント用モジュール)  
`http://サーバーの IP アドレスまたはホスト名:ポート番号/start/ISLLightClient`  
例：DNS 名が[test.ocean.local]、ポート番号が[443]、ISL Light Desk を利用する場合  
`http://test.ocean.local:443/start/ISLLightDesk`

### 起動方法

取得した起動プログラム（ISL Light Desk、ISL Light Client）を実行します。

### 3 接続方法

セッションコードの発行を行い、オペレーターとクライアントとの間で 1 度限りの接続を行います。

#### ■接続する側（オペレーター）

1. オペレーターの端末上で ISL Light Desk を起動します。
2. ISL Online のアカウント（ユーザー名、パスワード）を入力し、[ログイン]を選択します。



3. セッションコード（8 桁）が発行されます。  
セッションコードをクライアントに伝えます。



#### ■接続する側（クライアント）

4. クライアントの端末上で ISL Light Client を起動します。
5. オペレーターから伝えられた 8 桁のセッションコードを入力し、[接続]を選択すると接続を開始します。
6. 接続が完了すると、オペレーターとクライアントの両方にメインウィンドウが表示されます。  
（チャットが開始できます）
7. オペレーター側で[開始]を選択すると、
  - ・クライアントの画面を[見る]
  - ・オペレーターの画面を[見せる]の確認画面（※）が表示されます。

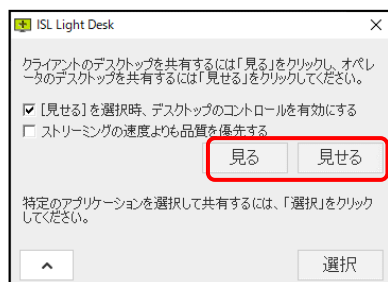


➡クライアントがオペレーターよりも先に[開始]を選択した場合は、デスクトップ画面をオペレーターに[見せる]かどうかクライアント側に確認画面（※）が表示されます。

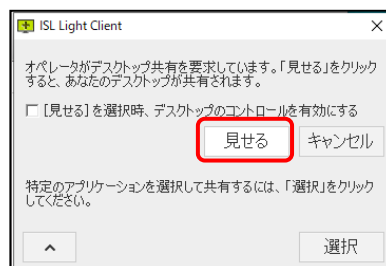


## ※確認画面

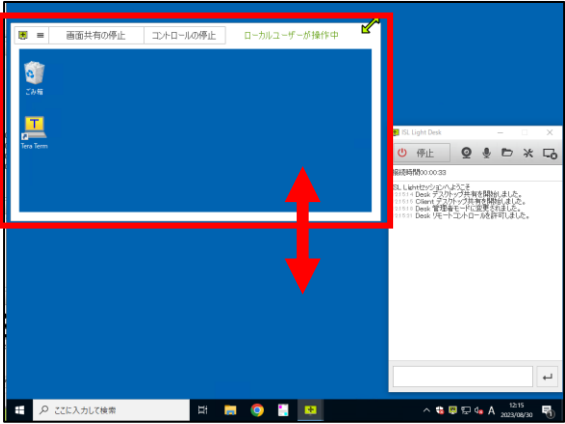

### ■オペレーター用



### ■クライアント用



## [オプション]

[見せる]を選択時、デスクトップのコントロールを有効にする	デスクトップの共有開始と同時に、相手先にマウスとキーボードの操作を許可します。
ストリーミングの速度よりも品質を優先する	接続の速度よりも画質を優先して画面共有を行います。
見る/見せる/キャンセル	<p>見る：クライアントの画面を「見る」。</p> <p>見せる：オペレーターの画面を「見せる」。</p> <p>キャンセル：キャンセルしてウィンドウを閉じます。</p>
選択	<p>画面共有の範囲を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定のアプリケーションやモニターを選択して、選択したアプリケーションやモニター画面だけを相手側に見せることができます。</li> <li>・[共有範囲を選択]では、デスクトップ画面の任意の範囲を指定して、相手に見せることができます。 (指定範囲は画面の外枠をドラッグして拡大/縮小および移動できます)</li> </ul> <p>■見せる側</p>  <p>■見る側</p> <p>ISL View が閉じている場合は、画面の外枠をドラッグして拡大すると接続先の画面を見ることができます。</p> 



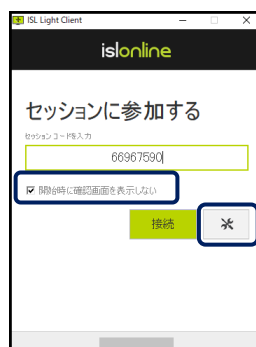
8. オペレーターまたはクライアントの確認画面で[見る]または[見せる]を選択すると、デスクトップの共有を開始します。




➡ (補足) 起動画面について

■オペレーター (ログイン後)



■クライアント



招待する 	Email を送信してクライアントをセッションに招待します。 クライアントは受信した Email 内の URL にアクセスして、表示される[開始]を選択して接続を開始できます (オペレーターの端末上で、規定のメールソフトが設定されている必要があります)。
コード取得	セッションコードを取得 (再取得) します。
設定 	ISL Light Desk、ISL Light Client の設定を行います。 (設定の詳細は 7 をご参照ください)
開始時に確認画面を表示しない	オプションのチェックを外して接続を開始すると、オペレーターが[見る]を実行した際にクライアント側に画面共有を許可するかどうかを尋ねる確認画面が表示されます (画面共有を許可する場合は、クライアント側で[見せる]を選択してください)。
メニュー 	・ 設定 : ISL Light Desk、ISL Light Client の設定を行います。 (設定の詳細は 7 をご参照ください)
	・ ログを参照する : ISL Light Client のログを確認します。 (ログは起動 exe 実行後に記録を開始します)
	・ バージョン情報 : ISL Light Client のバージョンを確認します。

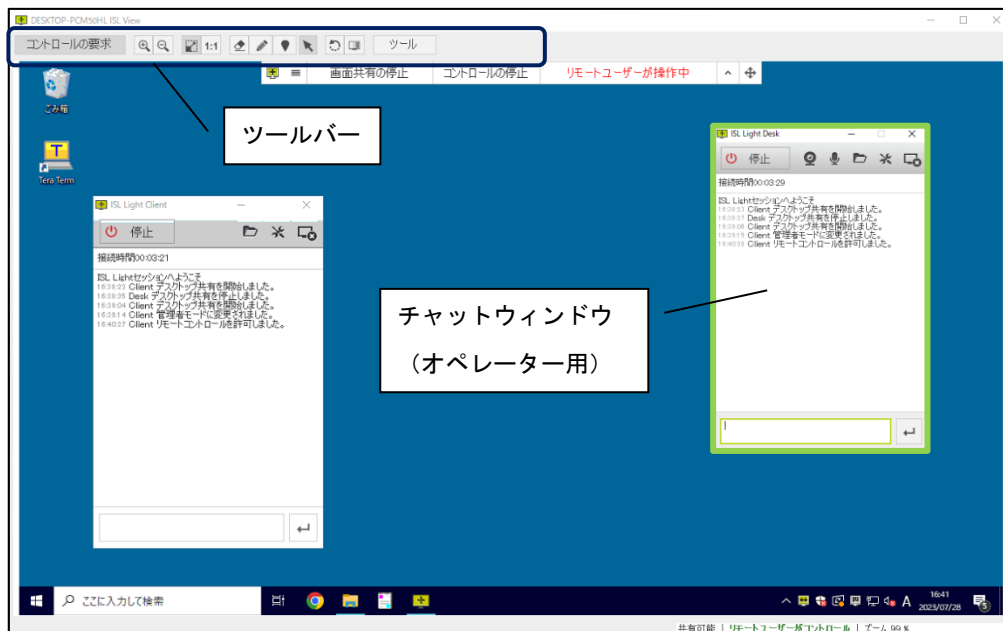
➡ (補足) 接続先のサーバーについて

接続先のサーバーは、起動時に画面の下に表示されます。  
(パブリッククラウドライセンスの場合は「ISL Online Network」、オンプレミスライセンスの場合は「サーバーの DNS 名または IP アドレス」が表示されます)

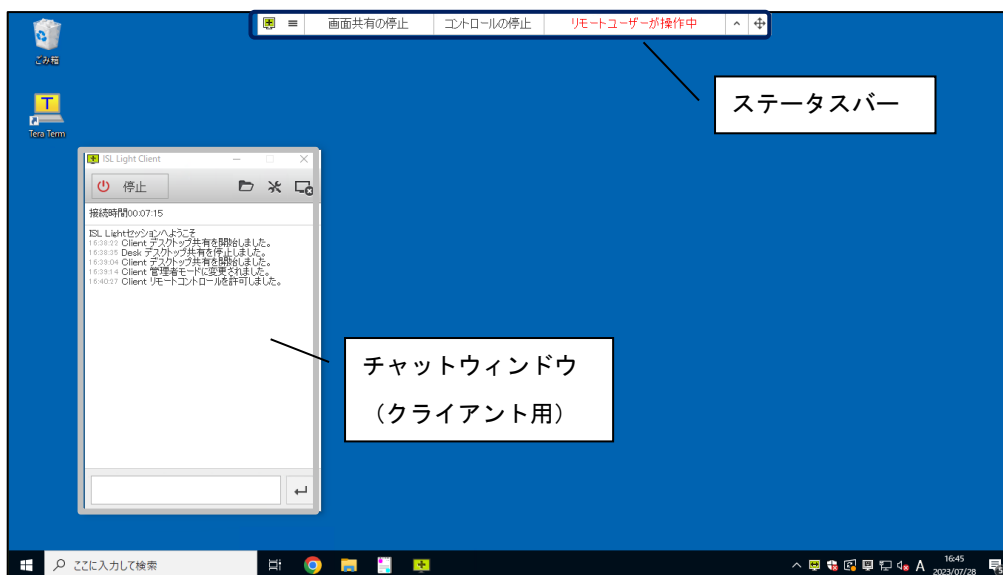


## 4 操作画面

### ■接続する側（オペレーター）の画面



### ■接続される側（クライアント）の画面



#### ➡（補足）

- ・上の画面はオペレーターがクライアントに対し、画面を[見る]を選択したものです。
- ・「チャットウィンドウ」は初期設定では常に手前に表示されます。設定はタイトルバーを右クリックして表示されるメニュー[常に手前に表示する]から変更できます。
- ・「チャットウィンドウ」はタスクトレイに格納できます。タイトルバーを右クリックして表示されるメニューから[タスクトレイに格納する]を選択してください。
- ・「ステータスバー」は初期設定では画面上部に表示されます。

➡ (参考) Mac 版のプログラムについて

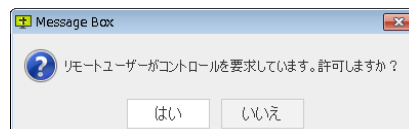
- ・ Windows (オペレーター) から Mac (クライアント) へ接続を行い、オペレーター側で[見せる]を実行した場合は、Mac の操作画面 (ツールバーなど) は ISL Light の画面に準拠します (ISL Light については、別紙『ISL Light マニュアル』をご参照ください)。

#### 4.1 ツールバー



##### ①コントロールの要求

- ・ 接続先にデスクトップ画面のコントロール (マウス、キーボードの操作) の許可を要求します。(デスクトップ共有開始時に、クライアントが確認画面で[デスクトップのコントロールを有効にする]のオプションを OFF (無効) にして[見せる]を選択した場合にご利用いただけます。)
- ・ コントロールの要求を行うと、クライアント側にメッセージが表示されます。コントロールを許可する場合は[はい]を選択します。



##### ②ズーム

共有画面の画質およびサイズを調整します。

	共有画面の拡大・縮小を行います。
	共有画面をウィンドウのサイズに合わせます。
	共有画面を 1:1 (実寸) で表示します。

##### ③描画ツール



消去	ペンによる書き込み、ポインターを消去します。 (右クリックすると[5 秒][10 秒][手動]の中から、消去のタイミングを設定できます)
ペン	ペンで書き込みを行います。 ※デスクトップ画面を「見る」「見せる」側の双方から書き込みできます。 ※書き込みはデフォルトでは 10 秒後に自動的に消去されます。
ポインター	ポインター (スタンプ) を押印します。 ※初期設定の場合、ポインターは 10 秒後に自動的に消去されます。
画面操作	マウスポインターに切り替えて画面操作を行います。

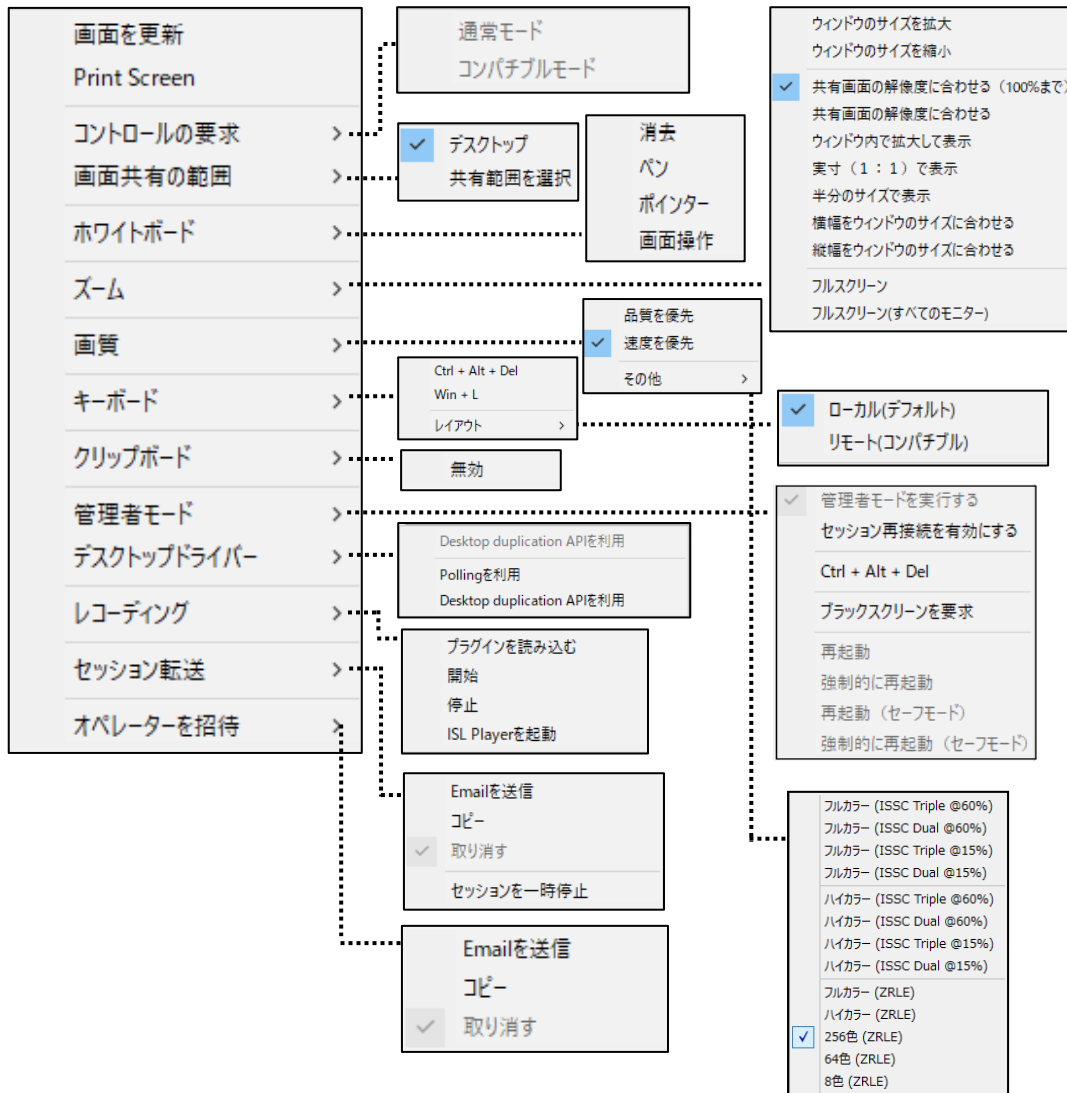
#### ④画面を更新

共有画面の更新を行います。

#### ⑤画質

共有画面の画質を変更します。

#### ⑥ツール



#### ■画面を更新

共有（デスクトップ）画面の更新を行います。

#### ■Print Screen

共有画面のスクリーンショットを取得します。

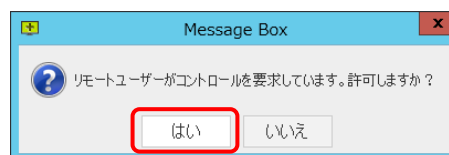
（取得したスクリーンショットは、実行した端末のクリップボード内に保存されます。ペイントソフトなどを起動して貼り付けを行ってください）

## ■コントロールの要求

- ・接続先に共有画面のコントロール（マウスおよびキーボードの操作）の許可を求めます。（デスクトップ共有開始時に確認画面で[デスクトップのコントロールを有効にする]をOFF（無効）にして[見せる]を選択した場合にご利用いただけます。）

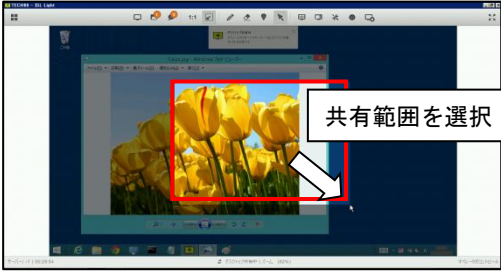
通常モード	接続元と接続先の双方からコントロールを行った場合に、接続先の操作が優先されます。
コンパチブルモード	接続元と接続先の双方でコントロールを行います。接続先の端末でF12 キーを押下するとコントロールを拒否できます。

- ・コントロールの要求を行うと、相手側にメッセージが表示されます。コントロールを許可する場合は[はい]を選択します。



## ■画面共有の範囲

画面共有（見る側）の範囲を指定します。

デスクトップ	画面共有の範囲をデスクトップ全体に指定します。 （デフォルトの指定範囲はデスクトップ全体となっています）
共有範囲を選択	画面共有の範囲を任意に指定します。  [手順] 1. 画面共有開始後、[共有範囲を選択する]を選択します 2. マウスをドラッグして、共有範囲を選択します    3. 選択した範囲のみが画面上に表示されます

## ■ホワイトボード

共有画面（デスクトップ）上にペンツールやポインタアイコンで書き込みができます。

消去	ペンによる書き込み、マーカーを消去します。
ペン	ペンで書き込みを行います。 ※デスクトップ画面を「見る」「見せる」側の双方から書き込みできます ※書き込みはデフォルトで 10 秒後に自動的に消去されます
ポインター	ポインター（スタンプ）を押印します。 （ポインターはデフォルトで 10 秒後に自動的に消去されます）
画面操作	マウス操作に切り替えます。

## ■ズーム

共有画面の画質およびサイズを調整します。

### ➡ (補足)

Windows 版の場合、フルスクリーンは「Ctrl + Esc」のショートカットでも切り替えができます。(接続先の OS が Windows 8、8.1、10、11 の場合は切り替えと同時に接続先の画面がモダン UI に切り替わります)

## ■画質

共有画面の画質（色）を調整します。

### [A 群について]

- ・描画された画面を転送する際に、ZRLE (可逆圧縮) もしくは JPEG 圧縮 (非可逆圧縮) でデータを圧縮して転送します。
- ・選択した項目に応じて、ISL Light 独自のコーデック (ISSC) が以下の判断を行います。

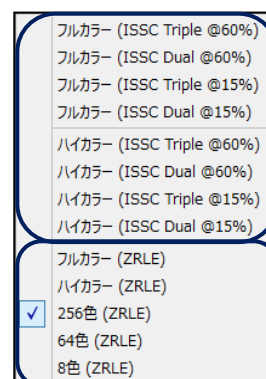
➡ A 群は Windows 版のみご利用いただけます。

### ・Dual mode:

転送する画面を JPEG 圧縮した際のデータ容量が ZRLE を使用した場合と比較して半分以下になる場合は、JPEG 圧縮を使用します。

### ・Triple mode:

転送する画面を JPEG 圧縮した際のデータ容量が ZRLE を使用した場合と比較して半分以下になる場合は、JPEG 圧縮を使用します。ただし、その後に描画が更新された場合は ZRLE を使用します。



### [B 群について]

- ・画面を転送する際に、ZRLE (可逆圧縮) でデータを圧縮してから転送します。

## ■キーボード

キーボードの操作に関する設定の変更や、ショートカットのコマンドを送信します。

Ctrl + Alt + Del	クライアントに「Ctrl + Alt + Del」を送信します。 (管理者モードが有効な場合のみ実行できます) ※クライアントが Windows の場合のみご利用できます。
Win + L	デスクトップ共有時に、リモート端末をロックします。 ※クライアントが Windows の場合のみご利用できます。
ローカル(デフォルト)	接続元の IME を優先して使用します。
リモート(コンパチブル)	接続先の IME を優先して使用します (入力したキーが Unicode で接続先に送信されます)。

➡ (補足) 接続先への文字入力について

[Windows の場合]

- ・ 接続先の入力モードはマウス操作にて切り替えてください ([Alt + 半角/全角] キーの押下により接続元と接続先の入力モードが同時に変更されます)。
- ・ Mac への文字入力の際は、入力モードを「半角英数」に設定してください。
- ・ [リモート (コンパチブル)] を選択した状態で接続元の入力モードが「日本語」の場合、接続先の端末に文字が入力できません。
- ・ [ローカル (デフォルト)] を選択した状態で接続元と接続先の入力モードが「日本語」の場合、[Shift]+他のキーを同時に押下すると、接続先で[Shift]キーが押された状態が続きます。再度[Shift]キーを押すことで解除できます。

[Mac の場合]

- ・ 接続元の入力モードが「英字」の場合、文字が正しく入力できません。
- ・ 入力される文字の種類は、接続先の端末の入力モードに依存します。

[Linux の場合]

- ・ **[ローカルレイアウト]** を選択されている際、接続元の IME が日本語の場合は文字入力できません。

■ クリップボード **WIN**

セキュリティ上の観点から、オペレーターとクライアントの間でクリップボードの共有 (保存したテキストの貼り付け) を禁止できます。

➡ (補足)

- ・ オンプレミスライセンスの場合、ISL Conference Proxy の管理画面であらかじめクリップボードを無効 (禁止) にしておくことができます。詳しくは『ISL Conference Proxy 新規セットアップマニュアル』をご参照ください。

■ 管理者モード **WIN**

管理者モードを有効にすると、クライアント端末 (Windows) 上に表示された UAC 画面に対する操作やセッション再接続を有効にできます。

セッション再接続を有効にすると、CTRL-ALT-DEL の送信やブラックスクリーンの機能がご利用いただけます。

■ セッション再接続を有効にする

セッション再接続を有効にすると、クライアント端末で「再起動」「シャットダウン」「スタンバイ」「ログオフ」「休止状態」を実行しても、クライアント端末の起動後 (ログイン後) に再度同じセッションに接続されます。また、クライアントが Windows の場合は、以下の方法でクライアント端末の再起動を行うことができます。

再起動	クライアント端末の再起動を行います。
強制的に再起動	強制的にクライアント端末の再起動を行います。

再起動（セーフモード）	セーフモードでクライアントの再起動を行います。
強制的に再起動 （セーフモード）	強制的にセーフモードでクライアントの再起動を行います。

#### ■Ctrl + Alt + Del

クライアントに「Ctrl + Alt + Del」のコマンドを実行します。

（管理者モードが有効な場合のみ実行できます。）

➡ クライアントが Windows の場合のみ実行できます。

#### ■ブラックスクリーンを要求

接続先の端末画面を黒画面にして、一時的に相手に操作内容を見せないようにします。

（管理者モードが有効な場合のみ実行できます。）

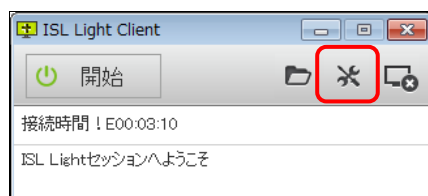
➡（補足）

- ・クライアントが Windows の場合のみ実行できます。
  - ・ISL Light Client 4.4.2234.55 以降のバージョンでは、ブラックスクリーン実行時にドライバーのインストールが不要になりました。（接続先が Windows7 以外の場合）
  - ・ISL Light Client 4.4.2234.55 より前のバージョンでは、ブラックスクリーンを Windows 8 以上、Windows Server 2012 以上のクライアントに実行する場合は、初回のみ対象クライアントに専用のドライバーをインストールする必要があります（インストールには管理者権限が必要です）。また、Windows 10 の大型アップデート（バージョン 1607 : Anniversary Update）以降に初期インストールされた端末では、利用できません。
- なおドライバーのインストール後は、端末のディスプレイの輝度を変更できません（ドライバーのアンインストールを行うことで、再度ディスプレイの輝度を変更できます）。

ドライバーのインストールおよびアンインストール手順は以下をご参照ください。

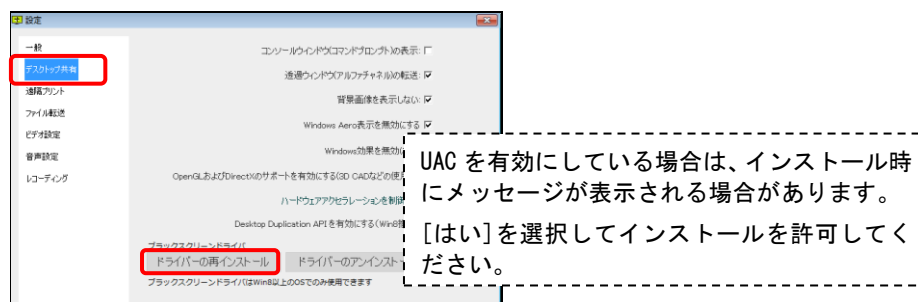
#### [ドライバーのインストール]

1. セッションを開始します。（画面共有は必ずしも行う必要はありません）
2. クライアントのチャットウィンドウの、[設定]を選択します。



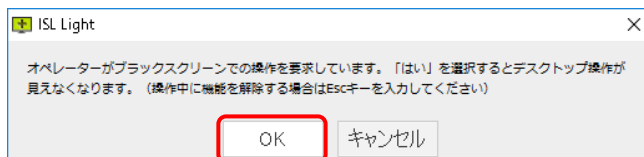
3. メニューから[デスクトップ共有]を選択し [ドライバーの再インストール]を選択してインストールを行います。



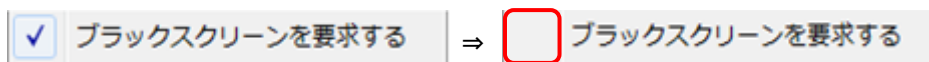


## [ブラックスクリーンの実行]

[管理者モード]-[ブラックスクリーンを要求する]を選択すると、クライアントにメッセージを表示します。[OK]を選択すると、画面が黒画面に切り替わります。



ブラックスクリーンを解除するには、再びブラックスクリーンを実行するか、



クライアント側で「ESC キー」を入力します。

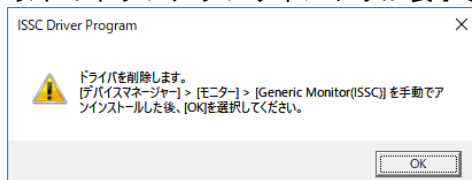
(クライアント側でブラックスクリーンの解除が行われた場合は、オペレーター側に解除までのカウントダウンが表示されます。)

ブラックスクリーンを6秒後に停止します...

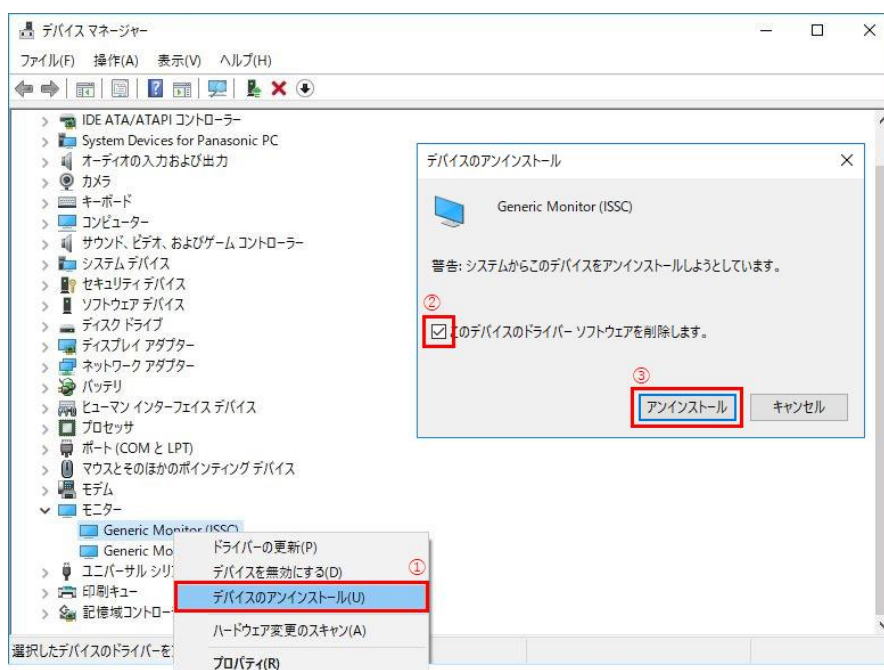
※解除までには数秒時間がかかります

## [ドライバーのアンインストール]

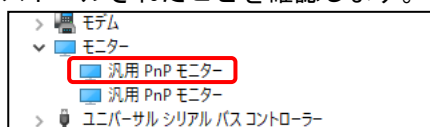
1. 以下のリンク先より専用のバッチファイルを取得します。  
[https://www.islonline.jp/help/file/ISL\\_Light\\_ISSC\\_driver.zip](https://www.islonline.jp/help/file/ISL_Light_ISSC_driver.zip)
2. 取得した ZIP ファイルを任意の場所に展開します。
3. 展開したフォルダー内の「issc\_uninstall.bat」を管理者権限で実行します。  
([右クリック]-[管理者として実行(A)])
4. 以下のポップアップウィンドウが表示されたら[OK]は選択せず、5. に進みます。



5. 「Generic Monitor (ISSC)」を手動でアンインストールします。  
(複数表示されている場合はすべて削除)  
[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[デバイスマネージャー]



6. 4. のポップアップウィンドウの[OK]を選択します。
7. [デバイスマネージャー]-[モニター]から「Generic Monitor (ISSC)」がアンインストールされたことを確認します。



#### ■デスクトップドライバー WIN

画面共有に使用するデスクトップドライバーを選択します。

Windows 8 以降	Desktop duplication API または Polling が選択できます。
Windows 8 未満	Polling が選択できます。
macOS	Hooks が選択できます。
Linux	選択出来るドライバーはありません。

#### ➡ (補足)

- ・ 設定画面で [Windows Desktop Duplication API を有効にする (Win8 推奨)] のチェックボックスを ON/OFF にした場合と同じです。(設定に関する詳細は、7. をご参照ください)
- ・ 接続される側の端末が Windows 8 より前のバージョンの場合はご利用いただけません。常に [Desktop Duplication API を利用しない] が表示されます。

#### ➡ (注意)

デスクトップドライバーを選択しても、チェックが表示されない場合がございます。

## ■レコーディング WIN

レコーディングを行います。(レコーディングの詳細は、6.3 をご参照ください)

## ■セッション転送 WIN

オペレーターから別のオペレーターに、接続中のセッションを転送（クライアント画面の操作を譲渡）できます。(詳細は 6.6 をご参照ください)

Email を送信	転送用の URL を発行して、メールソフトを起動します。 (端末上で規定のメールソフトが設定されている必要があります。)
コピー	転送用の URL をクリップボード内にコピーします。 (コピーした URL はメモ帳などで貼り付けができます。)
取り消す	[Email を送信][コピー]で取得した URL を無効にします。 (再度[Email を送信][コピー]を選択すると自動で解除されます)
セッションを一時停止	セッションを一時的に停止します。同じセッションは、オンラインページから再開できます。詳細は 6.6 をご参照ください。

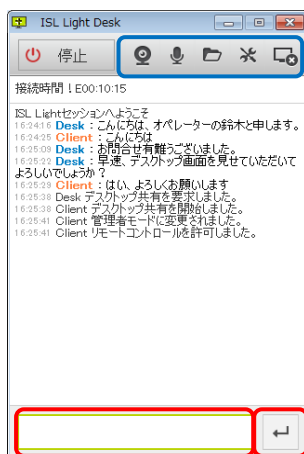
## ■オペレーターを招待 WIN

接続中のセッションを終了せずに、別のオペレーターを招待できます。招待されたオペレーターは接続中のセッションとは別に、新規でセッションを開始します。(詳細は 6.6 をご参照ください。)

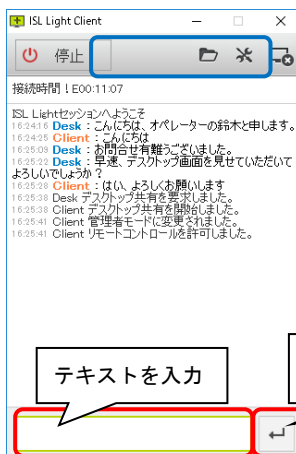
Email を送信	招待用の URL を発行して、メールソフトを起動します。 (端末上で規定のメールソフトが設定されている必要があります。)
コピー	招待用の URL をクリップボード内にコピーします。 (コピーした URL はメモ帳などで貼り付けができます。)
取り消す	[Email を送信][コピー]で取得した URL を無効にします。 (再度[Email を送信][コピー]を選択すると自動で解除されます)

## 4.2 チャットウィンドウ

### ■オペレーター用



### ■クライアント用



- ・オペレーター側に表示されるチャットウィンドウ上部のツールバーでは、オペレーター側からデスクトップ共有を開始・停止・再開できるほか、マイク・カメラのON/OFF、ファイル転送、設定（ログの参照）、セッション終了ができます。

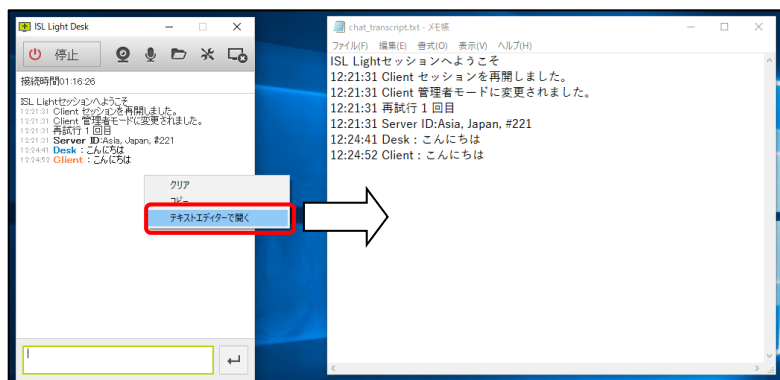


- ・開始直後にクライアント側に表示されるチャットウィンドウ上部のツールバーでは、クライアント側からデスクトップ共有（見せる）を開始・停止・再開できるほか、ファイル転送、設定（ログの参照）、セッション終了ができます。



### ➡（補足）

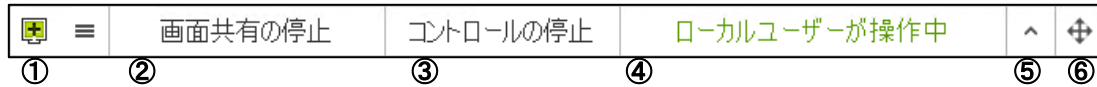
- ・チャットメニュー上で右クリックして[テキストエディターで開く]を選択すると、会話（チャットウィンドウのメッセージ内容）をテキストエディターに書き出すことができます。



- ・会話（チャットウィンドウのメッセージ）の内容は、履歴としてオンラインページ上で確認できます。（詳細は 6.7 をご参照ください）

### 4.3 ステータスバー

ズームやコントロールの状況など、現在のステータスを表示します。



#### ①メニュー

メインウィンドウを開く	チャット画面を表示します。
コントロールの許可	オペレーターにコントロール権を与える場合に選択します。
レコーディング	画面共有時の操作を録画（保存）します。詳細は 6.3 をご参照ください。
ホワイトボード	共有画面上にペンで書き込みや、ポインター（スタンプ）を押印します。詳細は 6.2 をご参照ください。
トップバーの位置	トップバーの位置を指定する場合に選択します。
クリップボードを利用	クリップボードを許可する場合に選択します。
設定	ISL Light Desk/Client の設定画面を開きます。
セッションを終了	セッションを終了します。

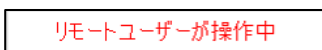
#### ②画面共有の停止

[画面共有を停止]を選択することで、デスクトップ共有を終了することができます。

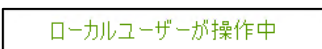
#### ③コントロールの停止・許可

[コントロールの停止]を選択することで、いつでもオペレーターからコントロール権を取り戻すことができます。

#### ④操作ステータスの表示



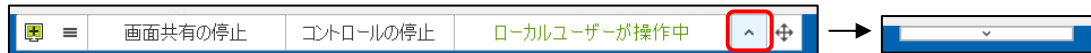
リモートユーザー（オペレーター）がクライアントの端末をコントロールしている状態です。クライアントがマウスを動かすと、オペレーターは 3 秒間コントロール権を失います。




ローカルユーザー（クライアント）が自分の端末をコントロールしている状態です。

#### ⑤ステータスバーの開閉

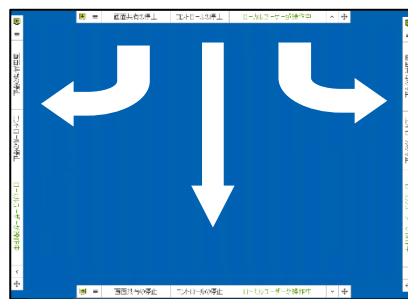
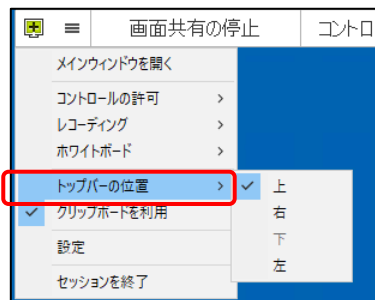
開閉マークを選択すると、ステータスバーの開閉状態を切り替えることができます。



#### ⑥ステータスバーの移動

ステータスバーを開いた状態で  をドラッグすると、ステータスバーの位置を自由に画面内移動できます。

メニューから、ステータスバーの位置を変更することもできます。（移動先に Windows のタスクバーがある場合は移動できません）

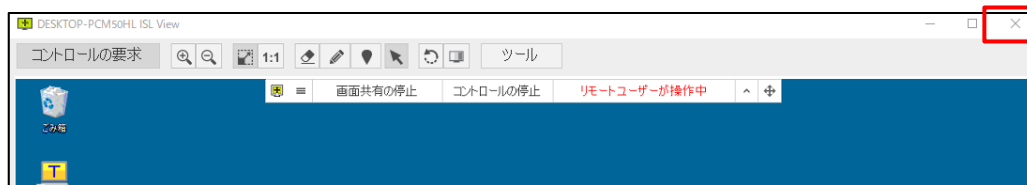


## 5 終了方法

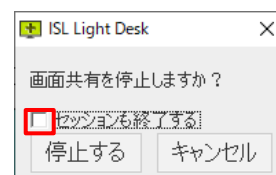
接続（セッション）の終了手順をご説明いたします。

### デスクトップ共有画面から終了する

1. デスクトップ共有画面（ウィンドウ）端の[×]を選択します。



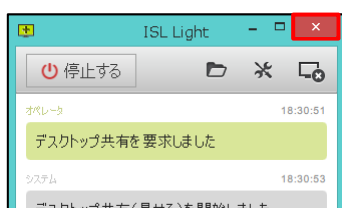
2. 終了確認のメッセージが表示されます。[はい]を選択するとデスクトップ共有を終了します。  
[セッションも終了する]に☑を入れると、デスクトップ共有の終了と同時にセッションも終了します。



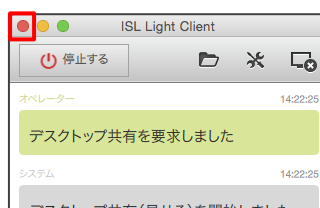
### チャット画面から終了する

1. チャット画面端の[×]を選択します。

【Windows の場合】

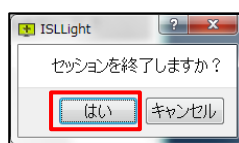
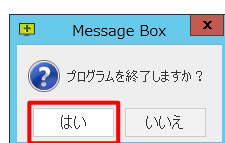


【Mac の場合】



※[停止する]は、デスクトップ画面の共有のみを停止します。セッションは終了しません。

2. セッション（またはプログラム）の終了確認メッセージが表示されます。  
[はい]を選択するとセッションを終了します。



## 6 具体的な操作

### 6.1 ファイル（フォルダー）を転送する

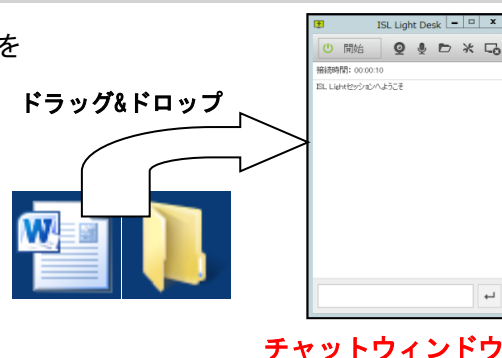
セッションを開始すると、ファイルやフォルダーの転送（送信・受信）ができます。ファイルやフォルダーの転送を行うには、以下の複数の方法があります。

#### ➡（注意）

Linux OS でファイルを受信できない場合は、ファイルの保存先を変更して受信してください。

#### 【方法1】チャットウィンドウ上にドラッグ&ドロップする

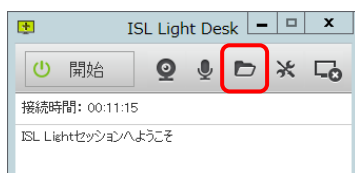
- ・チャットウィンドウ上にファイル/フォルダーをドラッグ&ドロップします。



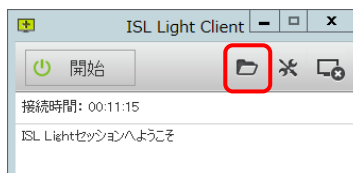
#### 【方法2】チャットウィンドウ上のツールバーを利用する

- ・チャットウィンドウのツールバー内の[ファイル転送]から送信します。

##### ■オペレーター



##### ■クライアント



#### [手順]

1. ツールバー内の[ファイル転送]を選択します。
2. [送信]または[受信]を選択します。
3. 転送するファイル（フォルダー）を指定し、[開く]を選択します。  
（受信する場合は、相手先にファイルを指定するウィンドウが表示されます）

### 【方法3】右クリックで送信する対象を選択する

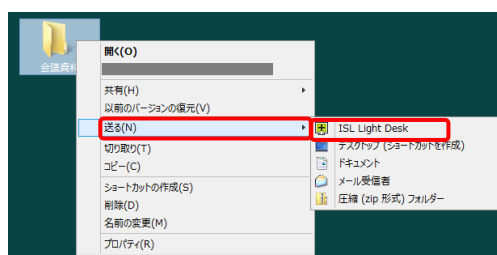
- ・送信するファイル（フォルダー）上で右クリックを行い、ファイル転送を行います。

➡ Windows 版のみご利用いただけます。Mac 版ではご利用いただけません。

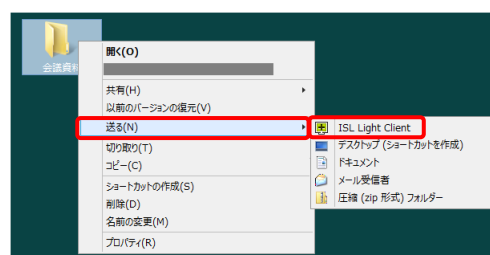
[手順]

1. 送信したいファイル（フォルダー）の上で右クリックを行います。
2. [送る]-[ISL Light Desk (ISL Light Client)] を選択します。

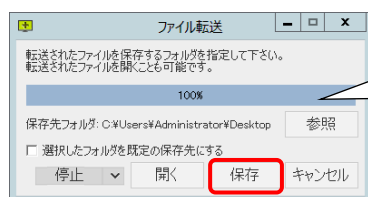
#### ■オペレーターから送信する場合



#### ■クライアントから送信する場合



3. ファイル（フォルダー）の転送が開始されると、転送先のデスクトップ上に以下のウィンドウが表示されます（転送先が Windows の場合のみ）。



ゲージが 100% になったら転送完了です。  
ファイルを保存してください。

➡ (補足) 既存ファイル（フォルダー）の置き換えについて

- ・送信した先に同じ名前のファイル（フォルダー）が存在していた場合は、保存する際に別名で[保存]あるいは[置き換え（上書きして保存）]できます。





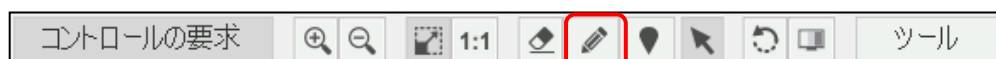
## 6.2 ペンツールを使用する

デスクトップ共有を開始すると、共有画面上にペンで書き込みができます。書き込みは「見る」側、「見せる」側の双方からできます。

### ■Windows の場合

#### 【見る側】

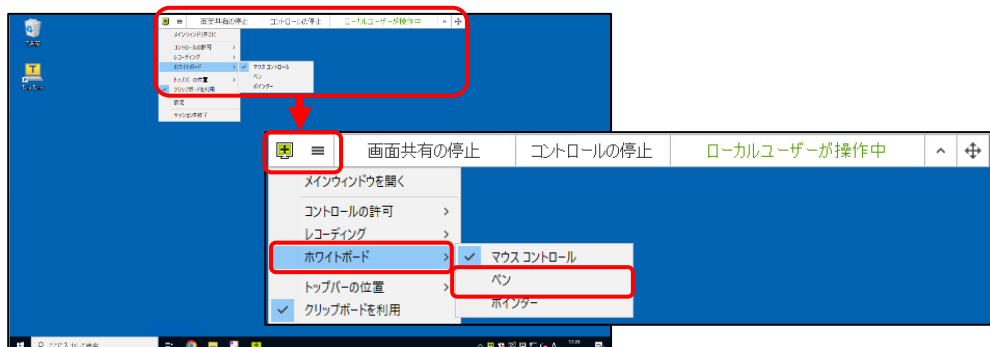
1. デスクトップ共有を行います。
2. ツールバーの[ペン]を選択して、共有画面上に書き込みを行います。



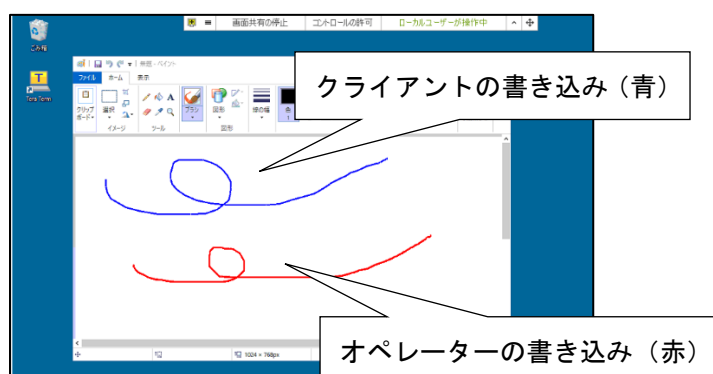
3. 赤字で書き込み（描画線）が表示されます。  
➡ 書き込み（描画線）は 10 秒に自動で消えます。  
（手動で消す場合はツールバーの[消去]を選択してください。）

#### 【見せる側】

1. デスクトップ共有を行います。
2. クライアント画面の上部に表示されるステータスバーの一番左にあるアイコン・またはメニューをクリックし、[ホワイトボード]-[ペン]を選択します。



3. クライアント側からも、自由に描き込みができるようになります。

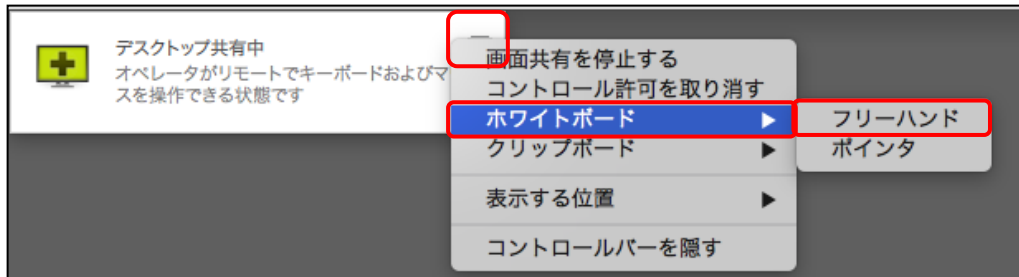


- ➡ ・書き込み（描画線）は、30 秒に自動で消えます。手動で消す場合は再びバー上で右クリックを行うか、[Esc]キーを押します。
- ・オペレーター側からクライアントの書き込み（描画線）を消すことはできません。

## ■Mac の場合

### 【見せる側】

1. デスクトップ共有を行います。
2. コントロールバー 右上の[三本線]-[ホワイトボード]-[フリーハンド]を選択して、共有画面に書き込みを行います。



3. 「見る」側は赤字、「見せる」側は青字で書き込み（描画線）が表示されます。



### ➡ (補足)

- ・書き込み（描画線）は、30 秒に自動で消えます。手動で消す場合は再びバー上で右クリックを行うか、[Esc]キーを押します。
- ・オペレーター側からクライアントの書き込み（描画線）を消すことはできません。
- ・「見せる」側の書き込みを停止（解除）する場合は、[Esc]キーを押してください。
- ・クライアントが Mac 及び Linux の場合、ポインターを使用するとクライアント側では赤十字マークが表示されます。

### 6.3 録画する WIN

画面共有時の操作を録画（保存）します。セッション（画面共有）開始時に自動で録画を開始することもできます。作成された動画（.isr ファイル）は、ローカル端末内の任意の場所に保存できます。

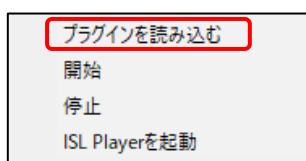
#### ➡（補足）

以下の場合、ISL Light を利用して録画を行ってください。

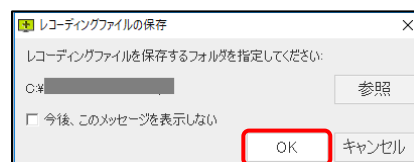
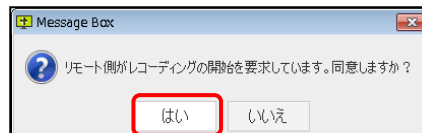
- ・ブロードキャスト中の ISL Light iOS の画面を録画する場合

### ■録画する（レコーディング） WIN

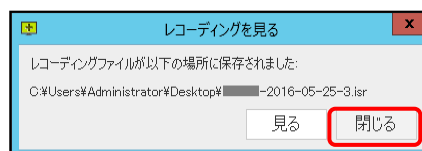
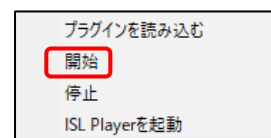
1. デスクトップ共有を行います。
2. ツールバーの[ツール]-[レコーディング]-[開始]を選択します。  
（[プラグインを読み込む]に☑が入っていない場合は、先に[プラグインを読み込む]を実行してから[録画]を選択してください）



3. クライアント側に確認画面が表示された場合は、  
[はい]を選択して録画を許可します。
4. オペレーター側に確認画面が表示されます。  
[OK]を選択すると録画を開始します。  
（[参照]を選択して動画（.isr ファイル）の保存先を指定できます）



5. 録画を終了する場合は、再度ツールバーの  
[ツール]-[レコーディング]から[停止]を選択します。
6. オペレーター側に動画（.isr ファイル）  
保存完了のメッセージが表示されます。  
[閉じる]を選択してウィンドウを閉じます。



- ➡ オペレーターの Windows 内に ISL Player がインストールされていた場合は[見る]を選択して、ダウンロード一覧の中から録画した動画（.isr ファイル）を選択してすぐに再生できます。

## ■自動レコーディング WIN

画面共有を開始した段階で自動的に録画を開始できます。

自動レコーディングを行うには、オペレーターおよびクライアントの両方で自動レコーディングのカスタマイズ有効にした特別なプログラムを使用する必要があります。

### ➡(参考)

- ・ワンタイム接続と常駐接続の両方が利用可能な「ISL Light」をご利用の場合は、カスタマイズを有効にしたプログラムを使う必要はありません。ISL Light の UI (設定画面) 上で簡単に設定を有効にできます。

## オペレーター用のプログラム

以下の 4 つから、ご都合に応じて任意のプログラムをダウンロードしてご利用ください。  
(どのプログラムをご利用いただいた場合も、自動レコーディングが有効になります。)

### ▼画面共有を開始した後、クライアントに確認画面を表示してから録画を開始する

<https://www.islonline.net/start/ISLLightDesk?cmdline=--on-connect+%22recording?record%22>

### ▼画面共有を開始した後、クライアントに確認画面を表示せずに録画を開始する

<https://www.islonline.net/start/ISLLightDesk?cmdline=--on-connect+%22recording?record=silent%22>

### ▼自動レコーディングを開始した後、オペレーターによるレコーディング停止を禁止する

[https://www.islonline.net/start/ISLLightDesk?cmdline=--on-connect+%22recording?record=silent%26allow\\_stop=false%22](https://www.islonline.net/start/ISLLightDesk?cmdline=--on-connect+%22recording?record=silent%26allow_stop=false%22)

### ▼録画したファイルを任意の場所に保存する

(上記 3 つのプログラムのカスタマイズと組合せて使用します。)

例：録画ファイルをオペレーターの端末の「C:¥sample¥isl」に保存する場合

[https://www.islonline.net/start/ISLLightDesk?cmdline=--on-connect+%22recording?record=silent%26allow\\_stop=false%26location=C:¥sample¥isl%22](https://www.islonline.net/start/ISLLightDesk?cmdline=--on-connect+%22recording?record=silent%26allow_stop=false%26location=C:¥sample¥isl%22)

## クライアント用のプログラム

セッションコード入力後、クライアント側に確認メッセージを表示せずにすぐに画面共有を開始するようになります。

<https://www.islonline.net/start/ISLLightClient?cmdline=--on-connect+%22desktop%3Fshow%26control%22>

### ➡ 自動レコーディング以外のカスタマイズも多数ございます。詳しくは以下の FAQ ページをご参照ください。

#### ▼ISL Light Desk/Client のカスタマイズ

[https://www.islonline.jp/help/faq\\_customizedc4.html](https://www.islonline.jp/help/faq_customizedc4.html)

## ■録画したファイルを再生する

録画したファイルは「. isr」拡張子のついたファイル名で保存されます。「. isr」ファイルは専用のプログラムである ISL Player で再生できます。

[手順]

1. 「ISL Player」の起動 exe (Mac の場合は app) を以下からダウンロードします。

▼パブリッククラウドライセンスの場合

<https://islv6.islonline.net/download/ISLPlayer>

▼オンプレミスライセンスの場合

<http://サーバーの IP アドレスまたはホスト名:ポート番号/download/ISLPlayer>

オンラインページ (<http://サーバーの IP アドレスまたはホスト名:ポート番号>) の「ダウンロード」ページから取得できます。

2. 起動 exe (Mac の場合は app) を実行して、ISL Player を起動します。  
インストールせずに動画を再生する場合は[レコーディングを開く]を選択します。



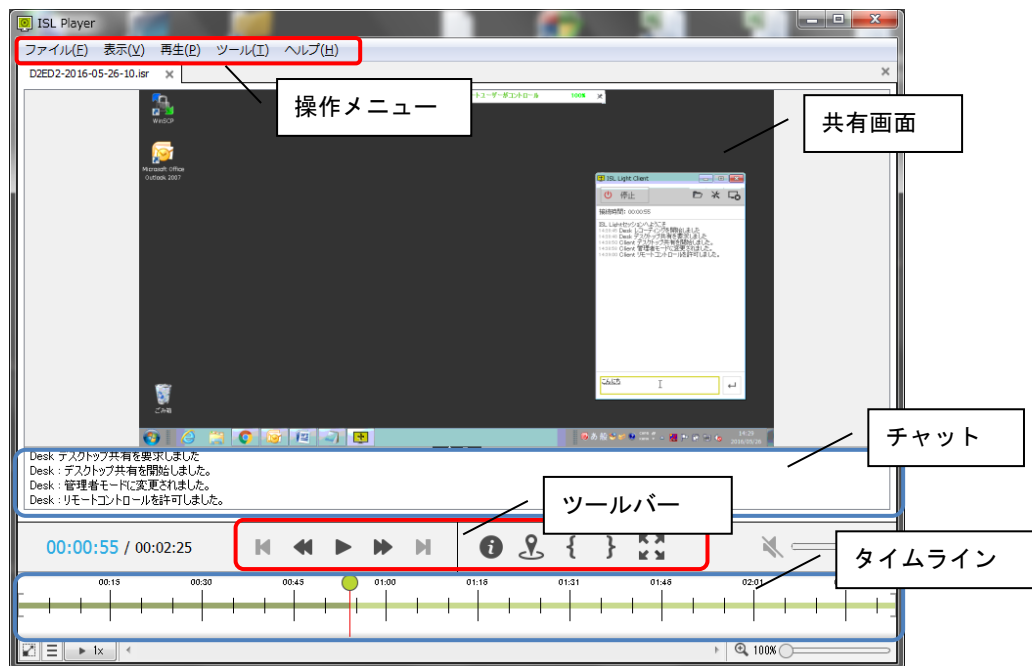
[インストールする]を選択した場合は、インストール完了後に以下のウィンドウが表示されます。[レコーディングを開く]を選択します。

### ➡(補足)

既に ISL Player をインストールしている場合は、動画 (. isr) ファイルをダブルクリックするだけで ISL Player を起動できます。

3. 再生する「. isr」ファイルを選択して、[開く]を選択します。
4. ISL Player のツールバー上にある再生ボタンを選択して、動画を再生します。

## ■ ISL Player について（画面は Windows 版のものです）



➡ Mac 版では、操作メニューはデスクトップのメニューバー上に表示されます。

### ■ ツールバー



①⑤	前に戻る / 次へ	直前（直後）のマーカ位置に移動します。
②④	再生スピードを下げる / 上げる	動画の再生のスピードを下げます / 上げます。
③	再生する	動画を再生します。
⑥	プロパティ	<p>レコーディングの情報を表示します。</p> <p>➡「マーカ」タブについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>マーカ挿入</b>：入力した位置にマーカ（位置情報）を挿入します。※</li> <li>・<b>保存する</b>：現在のマーカの位置情報を（.meta ファイルで）指定したパスに保存します。</li> <li>・<b>読み込む</b>：動画ファイルを開いた開始時のマーカ情報を読み込みます。</li> <li>・<b>リセットする</b>：meta ファイル自体を削除します。</li> </ul> <p>※マーカは選択してキーボードの[Delete]キーを押して削除できます。</p>
⑦	マーカを追加する	現在のタイムライン位置にマーカを挿入します。 （「詳細」に入力したコメントは、⑥のマーカタブで参照できます）
⑧	開始点 / 終了点	動画をトリミングする際の、開始点 / 終了点を決定します。 （トリミングは動画をエクスポートする際にご利用いただけます）
⑨	フルスクリーン	フルスクリーンで表示します。

## ■操作メニュー

ISL Player Mac	<p><b>Services - Service Preferences</b> : キーボードの設定を行います。</p> <p><b>Hide ISL Recording Player</b> : ISL Player を隠します。</p> <p><b>Hide Others</b> : ISL Player 以外のアプリケーションを隠します。</p> <p><b>Show All</b> : 隠したアプリケーションをすべて表示します。</p> <p><b>Quit ISL Player</b> : ISL Player を終了して閉じます。</p> <p>➡ メニューの一部が英語で表示されます。</p>
ファイル	<p><b>開く</b> : 再生する動画を選択します。</p> <p><b>閉じる</b> : 動画ファイルを閉じます (ISL Player は終了しません)。</p> <p><b>エクスポート</b> : 選択中の動画を、MPEG4 (V2) 形式でエクスポートします。</p> <p><b>プロパティ</b> : レコーディング情報を確認することができます。</p> <p>➡ (参考)</p> <p>ISL Light Desk、ISL Light Client で作成した動画ファイルと ISL Groop で作成した動画ファイルでは、プロパティで確認できる内容が異なります。</p> <p><b>終了</b> : ISL Player を終了します。</p>
表示	<p>(F11) : <b>フルスクリーン</b>で表示します (メニューバーあり)。</p> <p>(Ctrl+F11) : <b>フルスクリーン</b>で表示します (メニューバーなし)。</p> <p><b>ストリーム</b> : チャット画面の表示/非表示を設定します。</p> <p><b>デスクトップ ズーム</b> : 再生画面の表示サイズを設定します。</p> <p>➡ (補足)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フルスクリーンのショートカットは Windows 版のみご利用になれます。</li> <li>・フルスクリーンは [Esc] キーを押して解除できます。</li> </ul>
再生	<p>動画の「再生」「一時停止」「停止」のほか、動画の再生スピード (0.2 倍～4 倍) や音量 (大、小、ミュート) などを設定します。</p>
ツール	<p>ISL Player の再生時に表示するエリア (デスクトップ共有画面、チャット画面、カメラ画像、音声) を設定するほか、使用する言語を選択します。</p>
ヘルプ	<p>ISL Player のバージョンの確認を行います。</p>

## 6.4 ビデオチャット・音声通話

ヘッドセットおよびカメラを使ってビデオチャットや音声通話を行うことができます。

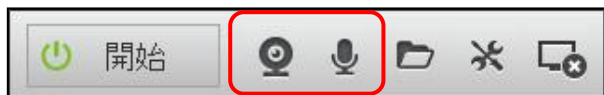
ヘッドセットおよびカメラは、接続を開始する前にそれぞれの端末に接続しておく必要があります。

※以下のバージョン以降から、バーチャル背景機能がご利用いただけます。設定方法につきましては7.8 バーチャル背景（P. 52）ご参照ください。

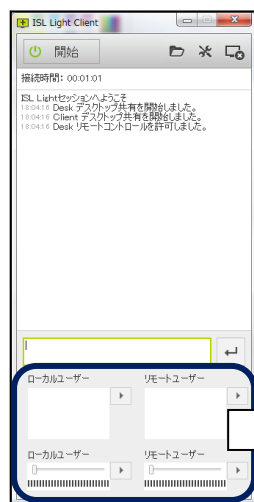
- ISL Light Desk and Client for Windows 4.4.2332.44 以降
- ISL Light Client for Mac and Linux 4.4.2332.32 以降

### 【手順】

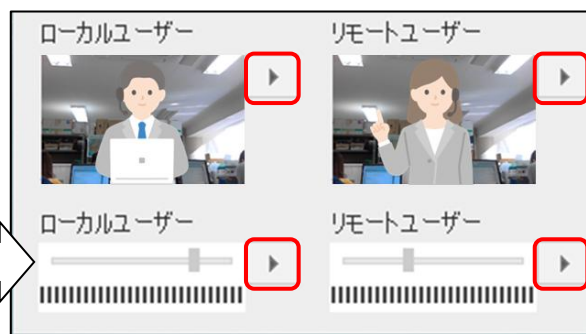
1. ヘッドセットおよびカメラを端末に接続しておきます。  
（それぞれの端末で、事前に音声の入出力およびカメラが正常に動作することをご確認ください）
2. 通常の手順に従い、オペレーターとクライアントとの間で接続を行います。
3. オペレーター側に表示されるチャットウィンドウ上部のツールバー内にある、カメラおよびマイクボタンを選択します。



4. チャットウィンドウの下に、音声およびビデオのエリアが追加されます。



ローカルユーザー（自分）およびリモートユーザー（相手）横のボタンを選択すると、ヘッドセットおよびカメラが有効になります。



### ➡（Windows 版の場合）

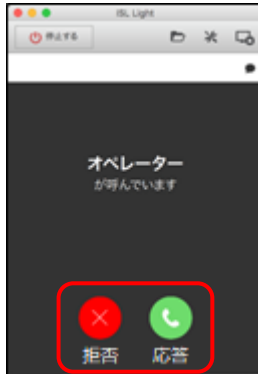
- ・オペレーター側でクライアントのカメラまたはカメラを有効にすると、クライアント側に確認メッセージが表示されます。[はい]を選択すると音声およびビデオを使用した会話を開始します。
- ・音声が小さい場合はスライダーで調整を行うか、ご利用中の端末の音声ボリュームをご確認ください。  
（ヘッドセットに付随している調整ボタンで、ボリュームが小さくなっている場合もございます）





➡ (Mac の場合)

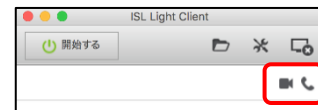
- ・オペレーター (Windows) 側から音声通話およびビデオチャットの要求があると、チャットウィンドウ上に「オペレーターが呼んでいます」というメッセージが表示されます。



拒否	音声およびビデオを使用した会話を拒否します。 選択すると通常のチャットウィンドウに戻ります。
応答	音声およびビデオを使用して会話を開始します。会話中は、ツールバー上のチャットアイコンの表示が変わります。



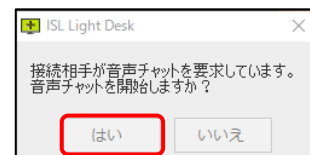
※ISL Light Client からヘッドセットおよびカメラを使った会話を開始できます。



■ヘッドセット (音声) の場合

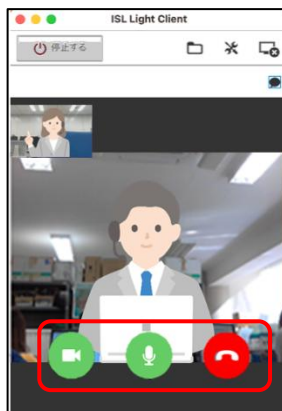
「応答」を選択すると、オペレーター側に確認メッセージが表示されます。

オペレーターが「はい」を選択すると、音声の配信を開始します。



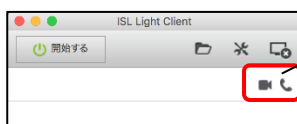
■カメラの場合

「応答」を選択すると、「接続完了」の表示と共に音声配信が有効になります。  
ビデオボタンを選択すると、ビデオ映像の配信を開始します。



	<b>ビデオ：</b> ビデオ映像の配信を「有効（緑）/無効（白）」にします。
	<b>マイク：</b> 音声の配信を「有効（緑）/無効（白）」にします。
	<b>受話器：</b> 音声通話およびビデオチャットを終了します。 セッションは終了せず、通常のチャット画面に戻ります。

※終了後は、クライアント側 (Mac) からビデオチャットや音声通話を再開できます。



音声通話、ビデオチャットを再開する

## 6.5 遠隔で印刷を行う WIN

接続を開始した後、遠隔プリントの機能を利用して相手先の端末上にあるファイルを自身の端末（に接続されているプリンター）で印刷できます。

### ➡（注意）

- ・ 遠隔プリントをご利用いただくには、クライアントの端末に管理者権限でログインしている必要があります。クライアントの端末に管理者権限でログインしているのにも関わらず、[設定]-[遠隔プリント]内の項目が選択できない場合は、一度クライアント端末で ISL Light Client のプログラムを終了した後、再度管理者としてプログラムを起動してください。

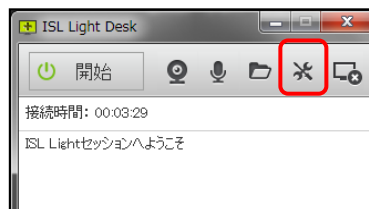
### [手順]

※以下の手順は、クライアントの端末上のファイルをオペレーターの端末（に接続されているプリンター）で印刷する場合をご案内しております。

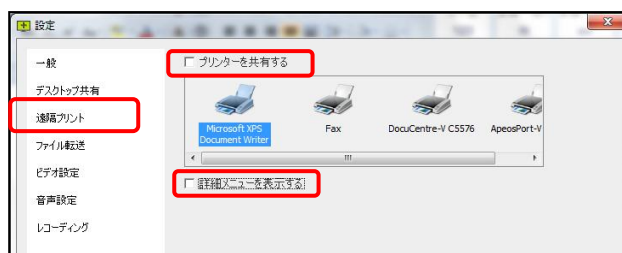
オペレーターの端末上のファイルをクライアントの端末（に接続されているプリンター）で印刷する場合は、オペレーター（クライアント）の手順をクライアント（オペレーター）で行ってください。

1. 通常の手順に従い、オペレーターとクライアントとの間で接続を行います。
2. 必要に応じてデスクトップ画面の共有を行います。（デスクトップ画面の共有は必須ではありません）

3. オペレーター側に表示される、チャットウィンドウのツールバーの[設定]を選択します。

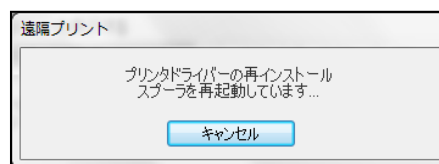


4. 設定画面が表示されます。  
[遠隔プリント]を選択します。

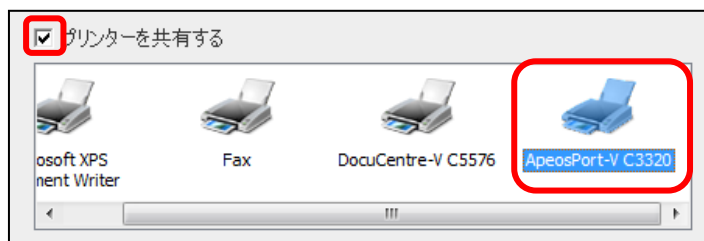


5. [プリンターを共有する]のチェックボックスに☑を入れます。

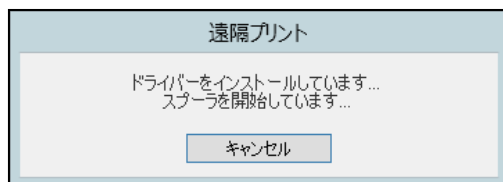
（[プリンターを共有する]のチェックボックスに☑が入らない場合は、[詳細メニューを表示する]のチェックボックスに☑を入れ、[ドライバーの再インストール]を選択して、プリンターのドライバーのインストールを行います。）



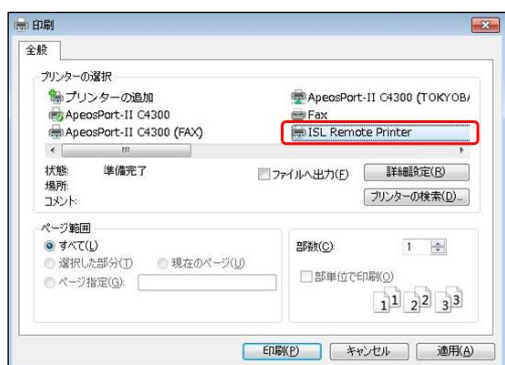
6. [プリンターを共有する]のチェックボックスに☑を入れ、印刷を行うプリンターを選択します。



7. [OK]を選択すると、クライアント側にオペレーターのプリンターのドライバーがインストールされます。(プリンターは「ISL Remote Printer」の名前で登録されます。)  
クライアント側には以下のメッセージが表示されます。



8. クライアントの端末上で、印刷を実行します。  
(印刷を行う際は[ISL Remote Printer]のプリンターを選択してください)



9. オペレーター側 (6. で選択したプリンター) で、印刷が実行されます。

## 6.6 セッションを終了、一時停止、転送、招待する

### ■セッションの終了、一時停止、再開

オンラインページで、実行中のセッション状況を確認できます。実行中のセッションは終了、一時停止、再開できます。

- ➡ オンプレミスライセンスの場合、実行中のセッション状況は ISL Conference Proxy の管理画面からも確認できます。詳しくは『ISL Conference Proxy 管理者ページ操作マニュアル』（モニタリング）をご参照ください。
- ➡ 接続元が macOS の場合、セッションの一時停止、転送はご利用いただけません。

[手順]

1. オンラインページにログインします。

#### ■パブリッククラウドライセンスの場合

ISL Online の製品ページ([www.islonline.jp](http://www.islonline.jp))にアクセスし、右上の[ログイン]を選択して、ユーザー名とパスワードを入力してログインします。



#### ■オンプレミスライセンスの場合

「[http://サーバーの IP アドレスまたはホスト名:ポート番号/](http://サーバーのIPアドレスまたはホスト名:ポート番号/)」をブラウザで開き、画面右上の[ログイン]を選択します。

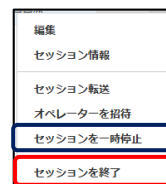
ユーザー名とパスワードを入力して[ログイン]を選択します。



2. 実行中のセッションを確認して、アクションを実行します。

[ワнтаイム接続]を選択すると、実行中のセッション状況が表示されます。※

- ・[開く]横の▼からリストを表示し、[セッションを終了]を選択すると、セッションを終了します。
- ・[セッションを一時停止]を選択すると、セッションを一時停止します。セッションを再開する場合は[セッションを再開]を選択します。



※（参考）オンプレミスライセンスでは[接続中のセッション]でもセッション状況を確認できます。

接続中のセッション

選択	ライセンス	開始中...	プログラム	ステータス	ユーザー	セッションコード
<input checked="" type="checkbox"/>	1	2023/07/28 17:31:04	ISL LIGHT	接続中		

選択したセッションを終了

終了するセッションに☒を入れて[選択したセッションを終了]を選択すると、セッションを終了（切断）します。

➡（補足）

- ・[セッションを再開]を選択するとプログラムがダウンロードされます。実行して再ログインすると、一時停止していたセッションに再び接続を開始します。

## ■セッションを転送する WIN

実行中のセッション（クライアントとの接続）を別のオペレーターに転送できます。

➡（補足）

- ・オンプレミスライセンスでは、ISL Conference Proxy 4.3.9 以上が必要です。また、事前に ISL Conference Proxy の管理画面にログインして、以下の3つの設定をすべて[Yes（有効）]にする必要があります。

[Configuration] - [Security]内:

<input type="checkbox"/>	User can view list of domains on server:	Yes ▼
<input type="checkbox"/>	User can view list of users in own domain:	Yes ▼
<input type="checkbox"/>	User can view list of users on server:	Yes ▼

[手順]

1. オンラインページにログインします。

### ■パブリッククラウドライセンスの場合

ISL Online の製品ページ([www.islonline.jp](http://www.islonline.jp))にアクセスし、右上の[ログイン]を選択して、ユーザー名とパスワードを入力してログインします。

ログイン

### ■オンプレミスライセンスの場合

「[http://サーバーの IP アドレスまたはホスト名:ポート番号/](http://サーバーのIPアドレスまたはホスト名:ポート番号/)」をブラウザで開き、画面右上の[ログイン]を選択します。

ユーザー名とパスワードを入力して、[ログイン]を選択します。

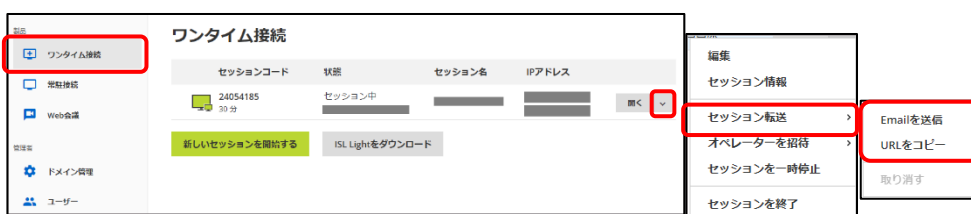


2. 実行中のセッションを確認して、アクションを実行します。

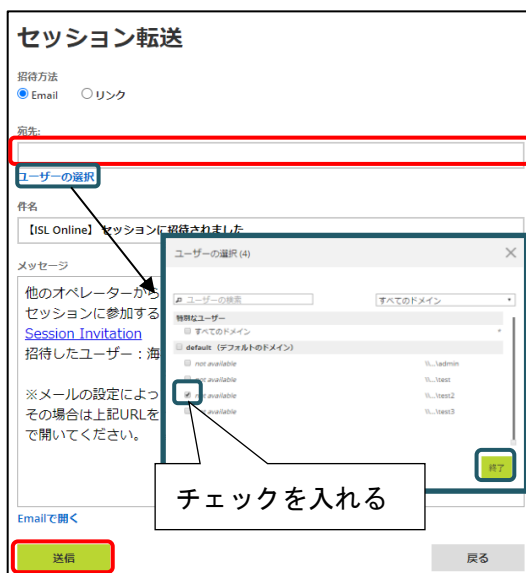
[ワнтаイム接続]を選択すると、実行中のセッション状況が表示されます。

[開く]横の▼からリストを表示し、[セッション転送]-[Email を送信]を選択します。

[URL をコピー]を選択すると、転送用の URL がクリップボードにコピーされます。



3. Email の送信画面（セッション転送のウィンドウ）が表示されます。



以下のいずれかの方法で、宛先に送信先を入力します。

(1) オペレーターのメールアドレスを直接入力する

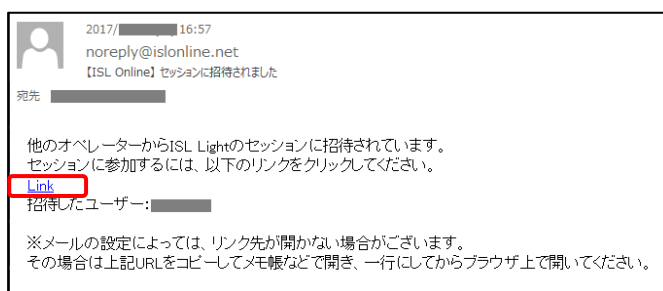
(2) 転送先のオペレーター名を入力する

(3) [ユーザーの選択] を選択してリストを表示し、転送先のオペレーターを選択して [終了] を選択する

※別途メールサーバーの設定が必要です。詳しくは『ISL Conference Proxy 管理ページ操作マニュアル』をご参照ください。

4. [送信]を選択すると、Email が送信されます。

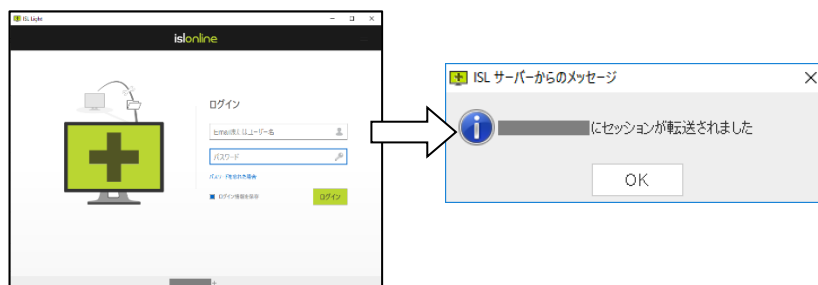
5. 「【ISL Online】セッションに招待されました」という件名の Email が転送先のオペレーターに送信されます。転送先のオペレーターは Email を開き、中に記載されたリンクを選択します。



➡ (補足)

メールの設定によりリンク先が開かない場合があります。その場合は上記 Link を右クリックしてリンク先をコピーし、メモ帳などで開いてからブラウザでリンク先ページを表示してください。

6. ブラウザが起動し、プログラムがダウンロードされます。
7. プログラムを起動し、転送先のオペレーターのユーザー名とパスワードを入力後、[ログイン] を選択して接続を開始します。



➡ (補足)

セッション転送は同一オペレーターが別の端末に移動する場合など、転送先で転送元のオペレーターと同一のアカウント（ユーザー名・パスワード）を入力することもできます。（1 ライセンスでご利用中の場合は、転送前にセッションを一時停止する必要があります）

## ■オペレーターを招待する

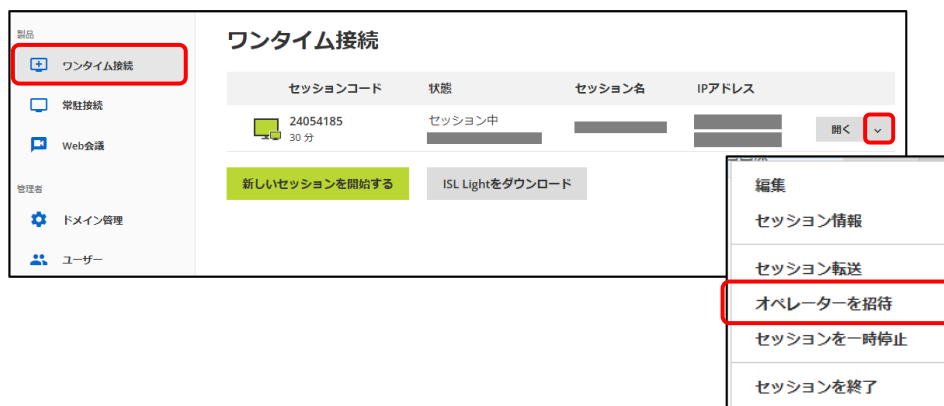
接続中のクライアントに対し、セッションを終了せずに別のオペレーターを招待できます。招待されたオペレーターは接続中のセッションとは別に、新規でセッションを開始します。（同時接続が2本以上可能なライセンスを保有している必要があります）

➡ (補足 1)

- ・ 必要な設定および手順は、前述の「セッション転送」と同様です。（前述の「セッション転送」の説明をご参照ください）
- ・ オンプレミスライセンスでは、ISL Conference Proxy 4.3.9 以上が必要です。
- ・ 招待オプションについては別紙『ISL Light マニュアル』をご参照ください。  
<https://www.oceanbridge.jp/isl/light/manual/ISLLight4Manual.pdf>

➡（補足 2）：セッション転送との違いについて

- ・「セッション転送」が転送後（別オペレーターが接続を開始した後）に既存のセッションが終了するのに対し、「オペレーター招待」では招待後（別オペレーターが接続を開始した後）も既存のセッションが保持されます。
- ・オンラインページでは、[オペレーターを招待]を選択してください。





## 6.7 セッションの履歴を管理する

オンラインページで、セッションの履歴を参照できます。

### ➡(補足)

オンプレミスライセンスでは、セッション履歴は ISL Conference Proxy の管理画面からも確認できます。詳しくは『ISL Conference Proxy 管理者ページ操作マニュアル』をご参照ください。

### ■セッション履歴を見る

1. オンラインページにログインします。

➤ パブリッククラウドライセンスの場合

ISL Online ホームページ([www.islonline.jp](http://www.islonline.jp))にアクセスし、右上の[ログイン]を選択して管理者（ライセンスオーナー）のアカウントでログインします。

ログイン

➤ オンプレミスライセンスの場合

「<http://サーバーのIPアドレスまたはホスト名:ポート番号/>」をブラウザで開き、画面右上の[ログイン]を選択します。ユーザー名とパスワードを入力して[ログイン]を選択します。



2. メニューから[履歴]を選択し、[ワнтаイム／常駐接続]を選択するとセッションの履歴が表示されます。

➤ パブリッククラウドライセンスの場合

セッションID	セッション名	ユーザー名	Email (クライアント)	接続日時	ステータス	接続の種別	OS (オペレーティング)	OS (クライアント)
1	2017.07.20 13:28			00:18:28	正常接続	正常接続	win32	win32
2	2017.07.20 15:05			00:01:52	ワントタイム接続	win32	win32	win32
3	11.07.2013 17:12			00:07:39	ワントタイム接続	win32	win32	win32
4	11.07.2013 14:48			00:17:40	ワントタイム接続	win32	win32	win32

## ➤ オンプレミスライセンスの場合

履歴を表示するセッションの開始日と終了日を選択できます。

ツールボタン

セッションID	開始日時	終了日時	セッションタイプ	セッション名	Email (クライアント)	セッションコード	チャット	メモ	アクション
1	2023/7/27 11:50:17	2023/7/27 12:11:57	常駐接続			45632631	開く	編集	
2	2023/7/27 11:15:29	2023/7/27 11:16:10	常駐接続			20072611	開く	編集	
3	2023/7/26 15:03:23	2023/7/26 15:03:39	ワンタイム接続			25994702	開く	編集	
4	2023/7/26 15:02:52	2023/7/26 15:03:07	ワンタイム接続			72819400	開く	編集	

### ➡ (補足) ツールボタンについて

- ・ ツールボタンを選択して、履歴に表示する内容を増やすことができます。
- ・ ご利用のライセンスの種類によりツールボタンに表示される内容が異なります。(オンプレミスライセンスでは、ツールボタンの一部の項目が英語で表示されます。)

### ■パブリッククラウドライセンス

### ■オンプレミスライセンス

☐メイン項目: ☐カスタム項目:

- ☒ 自付
- ☒ セッションコード
- ☒ セッション名
- ☒ ユーザー名
- ☒ Email (クライアント)
- ☒ 接続時間
- ☒ ステータス
- ☒ 接続の種類
- ☐ 開始時間
- ☐ 転送データ (Bytes)
- ☐ サーパー
- ☒ OS (オペレーター)
- ☐ Ver (オペレーター)
- ☐ IPアドレス (オペレーター)
- ☒ OS (クライアント)
- ☐ Ver (クライアント)
- ☐ IPアドレス (クライアント)
- ☐ ホスト名 (クライアント)
- ☐ 詳細 (クライアント)
- ☐ ホスト名 (オペレーター)
- ☐ MACアドレス (クライアント)
- ☐ MACアドレス (オペレーター)
- ☒ プリベイド使用時間
- ☐ セッションタイログ (オペレーター)
- ☐ セッションタイログ (クライアント)
- ☐ チャット内容
- ☒ メモ
- ☒ 編集
- ☐ マルチセッションID

初期値 変更

☐メイン項目: ☐カスタム項目:

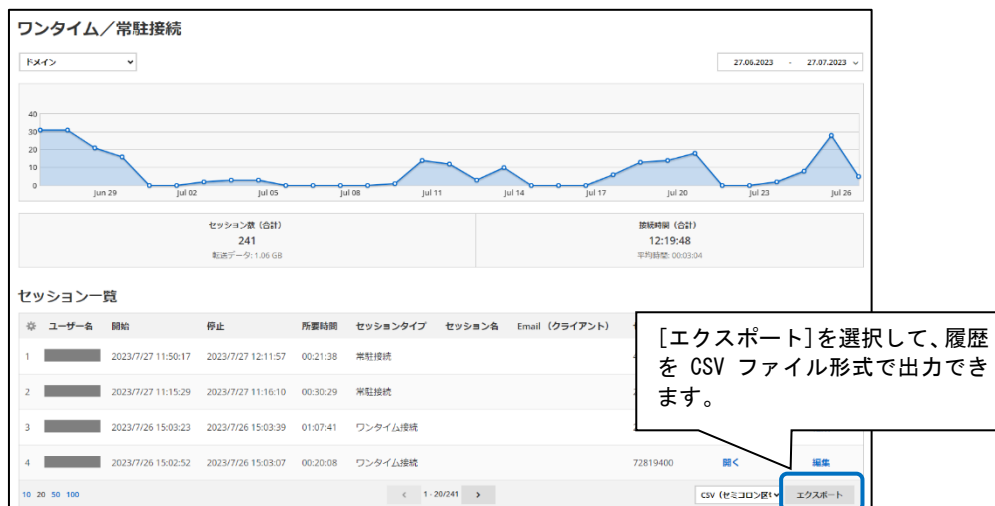
- ☒ ユーザー名
- ☒ 開始
- ☒ 停止
- ☒ 接続時間
- ☒ セッションタイプ
- ☒ セッション名
- ☐ 詳細 (クライアント)
- ☒ Email (クライアント)
- ☒ セッションコード
- ☐ 転送データ (Bytes)
- ☐ IPアドレス (クライアント)
- ☐ IPアドレス (オペレーター)
- ☐ OS (クライアント)
- ☐ OS (オペレーター)
- ☐ Ver (クライアント)
- ☐ Ver (オペレーター)
- ☐ ホスト名 (クライアント)
- ☐ ホスト名 (オペレーター)
- ☐ MACアドレス (クライアント)
- ☐ MACアドレス (オペレーター)
- ☐ 接続時間
- ☒ チャット
- ☒ メモ

※「カスタムエリア」の機能はご利用いただけません。

- ・ 表示する項目のチェックボックスを ON (☑に) すると、履歴画面に反映されます。(パブリッククラウドライセンスは[変更]を選択する必要があります。)
- ・ [初期値 (リセット)] を選択すると、デフォルトの設定に戻ります。
- ・ オンプレミスライセンスで ISL Conference Proxy4. 4. 2335. 124 をご利用の場合、[初期値] ボタンが表示されません。

## ■セッション履歴を出力する

任意の履歴を表示した後、結果を CSV 形式で出力できます。



### ➡ (補足)

- ・出力した使用履歴の CSV ファイルを Excel で開く方法は、以下をご参照ください。

▼セッション履歴の CSV ファイルを、Excel で開く方法を教えてください。

[https://www.isonline.jp/help/fag\\_isllight.html#lit13](https://www.isonline.jp/help/fag_isllight.html#lit13)

## ■会話（チャットウィンドウのメッセージ）の内容を見る

- ・ ツールボタンの[チャット内容]を表示することで、オペレーターとクライアントの会話（チャットウィンドウ上で表示された内容）が参照できます。
- ・ パブリッククラウドライセンスの場合はオンラインページのユーザー画面で、オンプレミスライセンスの場合は ISL Conference Proxy の User management 画面であらかじめ設定を有効にしておく必要があります。

[手順]

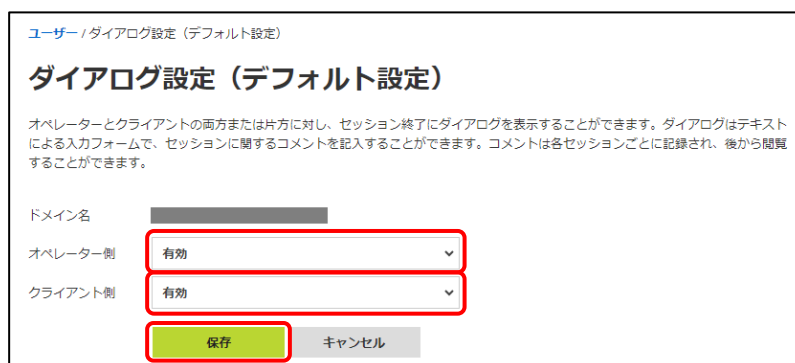
### ■パブリッククラウドライセンスの場合

1. 管理者（ライセンスオーナー）のアカウントでオンラインページにログインします。
2. [ユーザー]を選択し、会話を保存したいオペレーターの[ダイアログ設定]を選択します。

➡ ドメインに所属する全ユーザーを指定する場合は、[ドメインの設定]-[ダイアログ設定]）を選択します。



3. セッションダイアログの設定画面が開きます。「オペレーター側」および「クライアント側」の設定を[有効]にして[保存]を選択します。



4. 以降、3. の設定を行ったユーザーのアカウントで接続を行うと、会話内容（チャットウィンドウ上で表示された内容）が保存されます。

5. ツールボタンで「チャット内容」を有効にすると、「チャット内容」欄に黄緑色の吹き出しマークが表示されます。吹き出しマークにマウスのポインターを合わせると、会話内容（チャットウィンドウ上で表示された内容）が表示されます。

**セッション管理ツール**

メイン項目: ☒ 接続時間 ☒ セッションコード ☒ セッション名 ☒ ユーザー名 ☒ Email (クライアント) ☒ 接続日時 ☒ ステータス ☒ 接続の場所 ☐ 接続日時 (Server) ☐ サーバー ☒ OS (オペレーティング) ☐ Ver (オペレーティング) ☐ IPアドレス (オペレーティング) ☒ OS (クライアント) ☐ Ver (クライアント) ☐ IPアドレス (クライアント) ☐ ホスト名 (クライアント) ☐ 詳細 (クライアント) ☐ ホスト名 (オペレーティング) ☐ MACアドレス (クライアント) ☐ MACアドレス (オペレーティング) ☒ プリベイド使用時間 ☐ セッションログ (オペレーティング) ☒ チャット内容 ☐ 接続日時 (クライアント)

カスタム項目: ☐

接続 / 常駐接続

30.06.2023 - 31.07.2023

接続時間 (合計) 03:39:50  
平均時間: 00:01:59

セッション数 (モバイル端末) 0 (0.00 %)  
IOS: 0, Android: 0

接続時間 (モバイル端末) 00:00:00  
平均時間: 00:00:00

プリベイド使用時間 00:00:00  
セッション数: 0 (0.00 %)

セッションID	接続時間	セッション名	接続時間	セッション名	チャット内容	メモ
1. 27.07.2023 13:39			00:14:39			
2. 20.07.2023 18:00			00:01:12			
3. 11.07.2023 17:12			00:07:39			
4. 11.07.2023 14:48			00:13:40	FINISHED	ワンタイム	

吹き出しマーク

## ■オンプレミスライセンスの場合

1. ISL Conference Proxy の管理画面にログインして、以下の設定を[Yes]にして設定を保存します。

- ・ ISL Light を使用する全オペレーターに対して設定を有効にする場合  
[Configuration]-[ISL Light]-[Send chat transcripts after the session]
- ・ 特定のオペレーターの設定を有効にする場合  
[User management]-[ユーザー選択]-[ISL Light]-[Send chat transcripts after the session]
- ・ 特定のドメインに所属する、全オペレーターの設定を有効にする場合  
[User management]-[ドメイン選択]-[ISL Light]-[Send chat transcripts after the session]

### ➡(補足)

ISL Conference Proxy 管理画面の詳細は『ISL Conference Proxy 管理者ページ操作マニュアル』をご参照ください。

2. 以降、1 の設定を行ったユーザー（ドメイン）のアカウントで接続を行うと、会話内容（チャットウィンドウ上で表示された内容）が保存されます。

3. ツールボタンの[チャット内容]が有効の場合、「チャット内容」欄に[開く]が表示されます。[開く]を選択すると、会話の内容（チャットウィンドウ上で表示された内容）が表示されます。

The screenshot displays the ISL Conference Proxy management interface. On the left, a sidebar contains a 'ツールボタン' (Tool Button) section with a 'チャット内容' (Chat Content) button highlighted. The main area shows a session log table with columns: 所要時間 (Required Time), セッションタイプ (Session Type), セッション名 (Session Name), Email (クライアント) (Email (Client)), セッションコード (Session Code), and チャット内容 (Chat Content). The table lists four sessions, with the first session having a '開く' (Open) button in the 'チャット内容' column. A callout box points to this button. Below the table, a 'チャット' (Chat) window is open, displaying a transcript of the session. The transcript includes messages from the client and the operator, such as 'ISL Lightセッションへようこそ' (Welcome to ISL Light session) and 'Client デスクトップ共有を開始しました。' (Client desktop sharing started).

所要時間	セッションタイプ	セッション名	Email (クライアント)	セッションコード	チャット内容
7/31 14:06:43 00:01:51	ワンタイム接続			32656430	開く
/	ワンタイム接続			79388207	開く
/	ワンタイム接続			83267838	開く
2023/7/28 17:51:04 - 2023/7/28 18:23:11 00:51:43	ワンタイム接続				

**チャット**

ISL Lightセッションへようこそ  
 14:04:53 Client デスクトップ共有を開始しました。  
 14:05:51 Client 管理者モードに変更されました。  
 14:05:53 Desk: お疲れ様です。オペレータの専横です。よろしくお願いします。  
 14:06:11 Client: よろしくお願ひします。  
 14:06:33 Desk: 開議のファイルを見せていただいてもよろしいでしょうか  
 14:06:38 Client: はい、今開きます  
 14:06:47 Client デスクトップ共有を停止しました。

## 7 設定


ISL Light Desk、ISL Light Client の設定を変更できます。

### ■設定画面の開き方

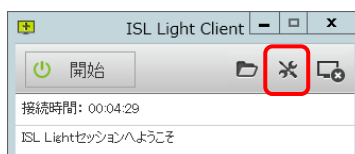
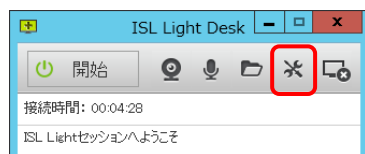
[セッション開始前]



起動 exe を実行し、ウィンドウ内の  
[設定]を選択します。

→ Mac 版の場合は  から [設  
定]を選択します。

[セッションコード入力後]



#### ➡ (補足 1)

- ・セッションコード取得後は変更が反映されない項目があります。その場合は一度セッションを終了した上で再度セッションコードを取得してください。
- ・設定の反映がうまくいかない場合は、ISL Light Desk および ISL Light Client のプログラムを一度終了させた後、再度プログラムを起動して設定を行ってください。

➡ Mac 版のクライアント用プログラム (ISL Light Client 4.4.2011.9) で [設定] を選択すると、ISL Light の設定ダイアログが開きます。(ISL Light の設定ダイアログについては、別紙『ISL Light マニュアル』をご参照ください。)

#### ➡ (補足 2)

- ・設定ボタンを右クリックするとメニューが表示され、一部の設定を変更することができます。

・ ISL Light Desk では、以下の機能を利用することができます。

ログ	オペレーターの ISL Light Desk ログを取得します。
ログ (Client)	クライアントの ISL Light Client ログを取得します。
言語	UI 上で使用する言語を選択します。
プロセスの優先度	ISL Light Desk のプロセスを優先度を指定します。 (優先度はタスクマネージャーの「詳細」タブからも確認できます)
設定	設定画面を表示します。
セッション転送	実行中のセッション (クライアントとの接続) を別のオペレーターに転送します。
オペレーターを招待	実行中のセッション (クライアントとの接続) に別のオペレーターを招待します。
遠隔プリント	遠隔プリント (7.3 参照) に必要なプラグインの読み込みを行います。
レコーディング	レコーディング (7.7 参照) を行います。

・ ISL Light Client では、以下の機能を利用することができます。

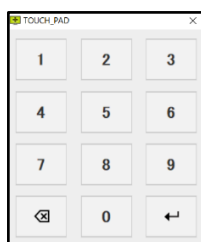
ログ	クライアントの ISL Light Client ログを取得します。
言語	UI 上で使用する言語を選択します。
プロセスの優先度	ISL Light Client のプロセスを優先度を指定します。 (優先度はタスクマネージャーの「詳細」タブからも確認できます)
テンキーを表示	テンキーを使ってセッションコードを入力できます。
設定	設定画面を表示します。

## ■テンキーを使ったセッションコードの入力方法

1. ISL Light Client を起動し、[設定] を右クリックして [テンキーを表示] を選択します。

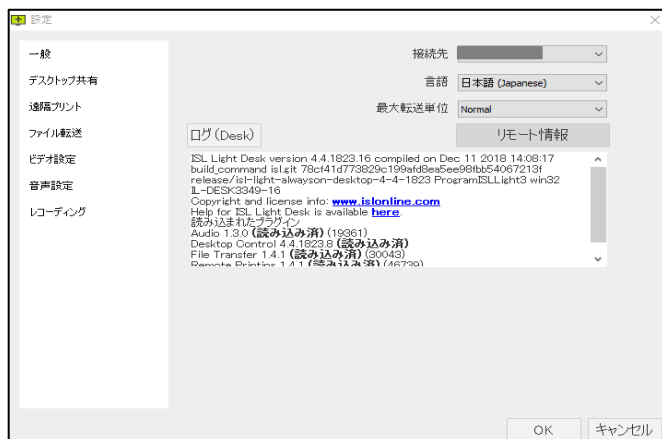


2. 表示されたテンキーを使って数字を入力します。





## ■ 設定画面



### 7.1 一般

接続先のサーバーや使用言語など、一般的な内容に関する設定を行います。

接続先	接続先のサーバーを変更します (パブリッククラウドライセンスのみ)。
言語	UI 上で使用する言語を選択します。
最大転送単位	使用する帯域に合わせ、Normal、Slow、Slowest の 3 種類の設定ができます。
ログ <b>WIN</b>	接続時の問題解決などに使用するログファイルを出力します。
リモート情報	接続先の情報を取得します。
バージョン一覧	読み込まれた各種プラグインのバージョンが表示されます。

### 7.2 デスクトップ共有

デスクトップ画面の共有に関する設定を行います。

1	コンソールウィンドウ (コマンドプロンプト) の表示	リモート端末に表示されたコマンドプロンプトを別ウィンドウで表示します。
2	透過ウィンドウ (アルファチャンネル) の転送	透過ウィンドウを表示するかどうかを選択します。
3	デスクトップ背景を表示しない	背景画像を非表示にします (使用する回線が遅い場合などにこのオプションを使用すると、接続速度が改善する場合があります)。
4	Windows Aero 表示を無効にする	Windows Aero の表示を無効にします。
5	Windows 効果は無効にする	Windows visual effects (視覚効果) を無効にします。
6	フォントスムージングを無効にする	フォントスムージング (アンチエイリアシング) を無効にします。
7	Open GL および DirectX のサポートを有効にする (3D CAD などの使用時)	3D の CAD の表示が遅い場合にこのオプションを使用すると、表示速度が改善する場合があります。
8	ハードウェアアクセラレーションを制御する	<input checked="" type="checkbox"/> を外すと、ハードウェアアクセラレーション機能を一時的に無効にします。

9	Desktop Duplication API を有効にする (Win8 推奨)	<input checked="" type="checkbox"/> を外すと、Desktop Duplication API を一時的に無効にします。
10	ブラックスクリーン	<p>ブラックスクリーンの実行に必要なドライバーをインストール/アンインストールします。</p> <p>※ISL Light Client 4.4.2234.55 より前のバージョンで Windows 8 以上、Windows Server 2012 以上のクライアントを対象にブラックスクリーンを実行する場合は、初回にドライバーのインストールが必要です。(詳細は 16 ページをご参照ください)</p>

#### ➡ (補足)

- ・ 1, 2, 3, 7, 8, 9 は設定値を端末のレジストリ内に保存しますが、4, 5, 6 は保存しません。セッションごとにその都度必要に応じて設定を行う必要があります。
- ・ 3 は設定値を端末のレジストリ内に保存しますが、ISL Light Desk と ISL Light Client の設定が異なる状態で接続を「終了」した場合、次回セッションを接続を再開すると ISL Light Client の設定値が Desk 側の設定に上書きされます
- ・ 3 は接続先が Windows の場合に限り有効です。

### 7.3 遠隔プリント WIN

遠隔プリントに関する設定を行います。

遠隔プリントは、接続先が Windows の場合のみご利用いただけます。

プリンターを共有する	印刷に使用したいプリンターを選択します。
詳細メニューを表示する	[ドライバーの再インストール] と [ドライバーのアンインストール] が表示されます。

### 7.4 ファイル転送

ファイル転送の保存先（フォルダー）を指定します。

### 7.5 ビデオ設定

ビデオ（ビデオ配信）に関する設定を行います。

ビデオ入力デバイス	ローカル端末（自分の端末）で使用するビデオデバイスを選択します。
ビデオ画質	ローカル端末のビデオ入力画質を選択します。
ローカルビデオテスト	ローカル端末のビデオ画像が表示されます。

## 7.6 音声設定

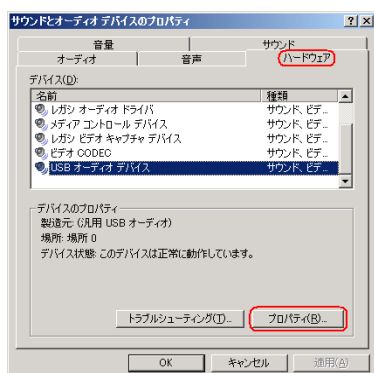
ヘッドセットやマイク（音声配信）に関する設定を行います。

テスト音声	[音声出力テスト]で音声の出力を、[音声入力テスト]で音声の入力をテストします。
音声出力	音声の出力に使用するデバイスや音量を決定します。
レコーディング	音声の入力に使用するデバイスや音量を決定します。
マイク音量の自動調節	マイク音量を自動で調整します。
エコーキャンセル	エコーが発生する場合に使用します。
高負荷の処理に対して優先設定をする	他のアプリケーションなどの影響で、CPUの使用率が高くなる場合に使用します。

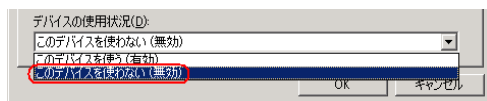
### ➡（補足） WIN

USB カメラなどに付属しているマイクが有効になっていると、ヘッドセットを使って音声配信を行う際にノイズが増大する場合があります。その際は以下の設定を行ってください。

1. Windows の[コントロールパネル]より[サウンドとオーディオデバイス]を選択します。
2. [ハードウェア]タブ内の[デバイス]から音声入力を無効にしたいデバイスを選択し、[プロパティ]を選択します。



3. [このデバイスを使わない(無効)]を選択して、[OK]を選択します。



### ➡（補足）

Windows 10 をご利用の場合は[オーディオデバイスの管理]より設定を行ってください。

## 7.7 レコーディング

レコーディングに関する設定を行います。

レコーディングファイルの保存先（フォルダー）	[参照]を選択すると、レコーディング（.isr）ファイルのデフォルトの保存先を設定できます。
ISL Player	[開始]を選択すると、ISL Player のダウンロードを開始します。

## 7.8 バーチャル背景

ビデオを有効にした時に利用するバーチャル背景の設定を行います。

モード	<ul style="list-style-type: none"><li>・ なし：背景を変更せず、そのまま表示します。</li><li>・ ぼかし：背景をぼかして表示します。</li><li>・ 指定した画像を使用：背景を指定した画像に変更します。</li></ul>
プライバシーレベル（ぼかし具合）	背景を変更するレベル（ぼかし具合）を調整できます。

ご不明点や不具合などがございましたら、下記 ISL Online FAQ ページをご参照ください。

<https://www.islonline.jp/help/index.html>

ISL Online 製品に関するお問い合わせはメールのみになります。

電話でのお問い合わせは受け付けておりませんのでご了承ください。

製品の詳しい情報については、以下の ISL Online ウェブページをご参照ください。

<https://www.islonline.jp/>

#### ISL Online 開発元

XLAB d.o.o.

URL: <https://www.xlab.si/>



#### ISL Online 国内総販売代理店

株式会社オーシャンブリッジ

URL: <https://www.oceanbridge.jp/>

